

令和6年度

# 全国学力・学習状況調査

## — 結果の概要 —

令和6年9月  
石川県教育委員会

# 目 次

## I 調査の概要

1	調査の目的	1
2	調査の対象	1
3	調査の内容	1
	(1) 教科に関する調査	
	(2) 質問調査	
4	調査の方式	1
5	調査日	1
6	調査を実施した本県公立学校数・児童生徒数	1
	[本書における留意事項]	2

## II 調査の結果

1	教科に関する調査の結果	3
	(1) 各教科の状況	4
	《小学校第6学年 国語》	
	《小学校第6学年 算数》	
	《中学校第3学年 国語》	
	《中学校第3学年 数学》	
	(2) 学校の分布状況	20
	(3) 平均正答率の全国との差の変動	22
2	質問調査の結果	24
	(1) 児童生徒質問調査	24
	(2) 学校質問調査	34

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査の対象

- ・小学校第6学年、義務教育学校前期課程第6学年、特別支援学校小学部第6学年
- ・中学校第3学年、義務教育学校後期課程第3学年、特別支援学校中学部第3学年

## 3 調査の内容

### (1) 教科に関する調査

国語 算数・数学	① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等 ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等 ※ 調査問題では、上記①と②を一体的に問う
-------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### (2) 質問調査

児童生徒質問	学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査
学校質問	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

## 4 調査の方式

悉皆調査

## 5 調査日 令和6年4月18日(木)

## 6 調査を実施した本県公立学校数・児童生徒数 (義務教育学校、特別支援学校を含む)

区分	小学校第6学年	中学校第3学年
学校数	190校	82校
児童生徒数	8,496人	8,307人

## [本書における留意事項]

### 1 語句について

語 句	説 明
平均正答数	児童生徒の正答数の平均
平均正答率	平均正答数を百分率で表示
標準偏差	集団のデータの平均値からの離れ具合（散らばりの度合い）を表す数値

### 2 数値について

○平均正答率等の数値については、国・県ともに公立学校の結果から算出した数値を記載している（国立・私立を含まない）。

### 3 到達状況の表記について

○平均正答率の比較については、国や県の平均正答率との差が、±5%以上（以下）は上回る（下回る）、±2%以上（以下）～±5%未満はやや上回る（やや下回る）、±2%未満は同程度と表記した。

○国が公表した過去の調査結果を参考にして、正答率の状況により、児童生徒の到達状況を下表のように表記した。

正 答 率	「到達状況」を示す記号、用語
90%以上の場合	◎：良好である
80%以上～90%未満の場合	○：概ね良好である
70%以上～80%未満の場合	◇：基準に到達している
60%以上～70%未満の場合	▽：十分とはいえない
60%未満の場合	▼：不十分である

### 4 調査結果の解釈等について

本調査は、幅広く児童生徒の学力や学習状況等を把握することなどを目的として実施しているが、実施教科が特定の教科のみであることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものではないことなどから、本調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部分であること、学校における教育活動の一側面に過ぎないことに留意する必要がある。

本調査の結果においては、教科ごとの平均正答率等の数値を示しているが、これらと分布の状況を表すグラフの形状など他の情報と合わせて総合的に結果を分析、評価する必要がある。

また、本調査結果の活用については、個々の設問や領域等に着目して学習指導上の課題を把握・分析し、児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることも重要である。

### 5 調査結果の算出方法について

平成29年度から文部科学省は、全国の平均正答率を小数第一位までの小数値、県の平均正答率を整数値で公表している。

本資料における調査結果については、文部科学省から公表された数値を使用している。ただし、Ⅱ1(3)「平均正答率の全国との差の変動」の資料作成に当たっては、文部科学省から公表された全国の平均正答率を小数第一位で四捨五入した整数値とし、本県の整数値の平均正答率と比較する本県独自の算出を行っている。そのため、精緻な数値での状況と異なる場合もある。

## Ⅱ 調査の結果

### 1 教科に関する調査の結果

本県の平均正答率は、これまでの調査と同様に、小中学校の国語、算数・数学ともに全国より高い。

学 年	項 目	県・国	国語	算数・数学
小学校 第6学年	問題数		14	16
	平均正答率 (%)	本県	72	67
		全国	67.7	63.4
中学校 第3学年	問題数		15	16
	平均正答率 (%)	本県	62	57
		全国	58.1	52.5

#### 《参考》

##### [令和5年度の結果]

学年	県・国	国語	算数
小学校 第6学年	本県	72	67
	全国	67.2	62.5

学年	県・国	国語	数学	英語
中学校 第3学年	本県	73	56	49
	全国	69.8	51.0	45.6

##### [令和4年度の結果]

学年	県・国	国語	算数	理科
小学校 第6学年	本県	70	69	70
	全国	65.6	63.2	63.3

学年	県・国	国語	数学	理科
中学校 第3学年	本県	73	58	55
	全国	69.0	51.4	49.3

##### [令和3年度の結果]

学年	県・国	国語	算数
小学校 第6学年	本県	71	74
	全国	64.7	70.2

学年	県・国	国語	数学
中学校 第3学年	本県	69	63
	全国	64.6	57.2

## (1) 各教科の状況

### 《小学校第6学年 国語》

#### 国語

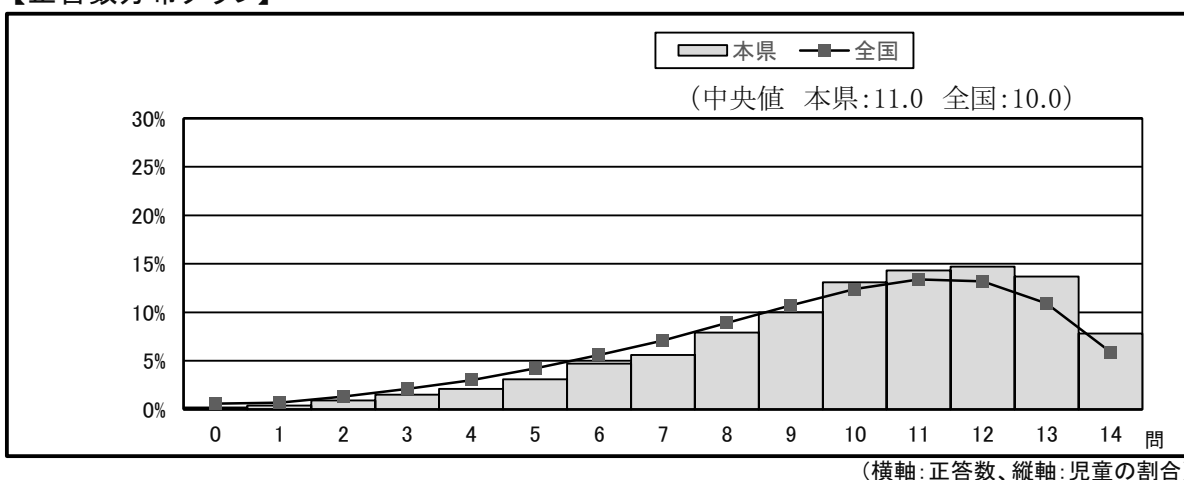
☆ 平均正答率は全国平均をやや上回り、基準に到達している。

☆ 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことや、目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすることはできている。

☆ 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することに課題がある。

	平均正答数	平均正答率	標準偏差
本県	10.0 / 14 問	72 %	2.9
全国	9.5 / 14 問	67.7 %	3.1

#### 【正答数分布グラフ】



#### 【正答率の高い問題】

問題番号	問題の概要	本県	全国
1	2一(2) 【高山さんのメモ】の書き表し方を説明したものとして、適切なものを選択する	88.1	86.9
2	2一(1) 高山さんが文章に書くことを決めるために、どのように考えたのかについて説明したものとして、適切なものを選択する	83.6	80.3
3	3四 【原さんの読書の記録】の空欄に入る内容として適切なものを選択する	82.0	74.6

#### 【正答率の低い問題】

問題番号	問題の概要	本県	全国
1	2三ア 【高山さんの文章】の下線部アを、漢字を使って書き直す(きょうぎ)	44.9	43.4
2	1二(2) オンラインで交流する場面における和田さんの話し方の工夫として適切なものを選択する	58.4	52.9
3	2二 【高山さんの文章】の空欄に入る内容を、【高山さんの取材メモ】を基にして書く	63.3	56.6

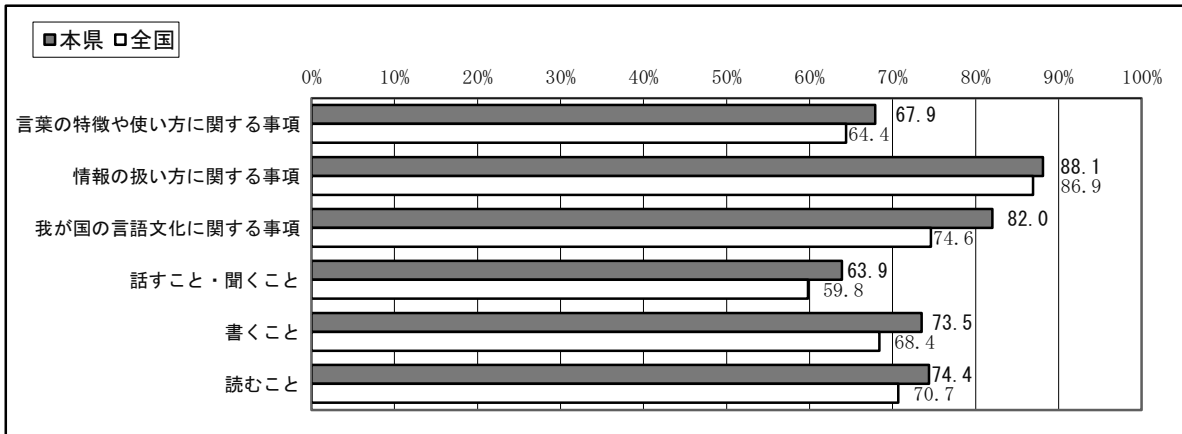
【本県の平均正答率が全国の平均正答率より低い問題】

問題番号	問題の概要	本県	全国	差
1 3二 (1)	「オニグモじいさん」が「ハエの女の子」にどのように話すか迷っていると考えられるところとして、適切なものを選択する	66.4	66.9	-0.5

【到達状況の傾向】

◎:良好である ○:概ね良好である ◇:基準に到達している ▼:十分とはいえない ▼:不十分である

【領域等別の平均正答率】



【知識及び技能】

【言葉の特徴や使い方に関する事項】

- ▼ : 文の中における主語と述語との関係を捉えること〔3一〕
- ▼ : 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと〔2三ア、イ〕

【情報の扱い方に関する事項】

- : 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと〔2一(2)〕

【我が国の言語文化に関する事項】

- : 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与すると気付くこと〔3四〕

【思考力、判断力、表現力等】

【話すこと・聞くこと】

- ▼ : 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討すること〔1一〕
- ▼ : 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること〔1二(2)〕

【書くこと】

- : 目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること〔2一(1)〕
- ▼ : 目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること〔2二〕

【読むこと】

- : 人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること〔3三〕
- ◇ : 人物像を具体的に想像すること〔3二(2)〕

[ ]内:問題番号

【各問題の正答率等】

国語

■ : 正答率が全国より高い  
□ : 正答率が全国より低い

問題番号	問題の概要	学習指導要領の内容						評価の観点			本県		全国	
		知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
		言葉の特徴や使い方に関する事項	情報の扱い方に関する事項	我が国の言語文化に関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと							
1一	学校の取り組みを紹介する内容を【和田さんのメモ】にどのように整理したのかについて説明したものとして、適切なものを選択する				○						66.5	0.3	62.5	0.7
1二(1)	オンラインで交流する場面において、和田さんが話し方を変えた理由として適切なものを選択する	○						○			78.8	0.2	75.9	0.6
1二(2)	オンラインで交流する場面における和田さんの話し方の工夫として適切なものを選択する				○				○		58.4	0.3	52.9	0.7
1三	オンラインで交流する場面において、【和田さんのメモ】がどのように役に立ったのかを説明したものとして、適切なものを選択する				○				○		66.7	0.5	63.8	0.9
2一(1)	高山さんが文章に書くことを決めるために、どのように考えたのかについて説明したものとして、適切なものを選択する					○				○	83.6	0.1	80.3	0.9
2一(2)	【高山さんのメモ】の書き表し方を説明したものとして、適切なものを選択する		○							○	88.1	0.2	86.9	0.9
2二	【高山さんの文章】の空欄に入る内容を、【高山さんの取材メモ】を基にして書く					○				○	63.3	3.6	56.6	4.9



【各問題の正答率等】

国語

■ : 正答率が全国より高い

□ : 正答率が全国より低い

問題番号	問題の概要	学習指導要領の内容						評価の観点	本県		全国		
		知識及び技能		思考力、判断力、表現力等					主体的に学習に取り組む態度	正答率（％）	無解答率（％）	正答率（％）	無解答率（％）
		言葉の特徴や使い方に関する事項	情報の扱い方に関する事項	我が国の言語文化に関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと						
2三ア	【高山さんの文章】の下線部アを、漢字を使って書き直す（きょうぎ）	○						○		44.9	8.0	43.4	13.2
2三イ	【高山さんの文章】の下線部イを、漢字を使って書き直す（なげる）	○						○		79.4	4.1	76.0	8.0
3一	【物語】の一文の中の「かがやいています」の主語として適切なものを選択する	○						○		68.5	0.6	62.3	2.0
3二(1)	「オニグモじいさん」が「ハエの女の子」にどのように話すか迷っていると考えられるところとして、適切なものを選択する							○	○	66.4	0.7	66.9	2.6
3二(2)	【話し合いの様子】で、原さんが【物語】の何に着目したのかについて説明したものとして、適切なものを選択する							○	○	75.1	0.8	72.5	2.9
3三	【物語】を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書く							○	○	81.6	7.6	72.6	12.6
3四	【原さんの読書の記録】の空欄に入る内容として適切なものを選択する			○				○		82.0	1.8	74.6	7.6

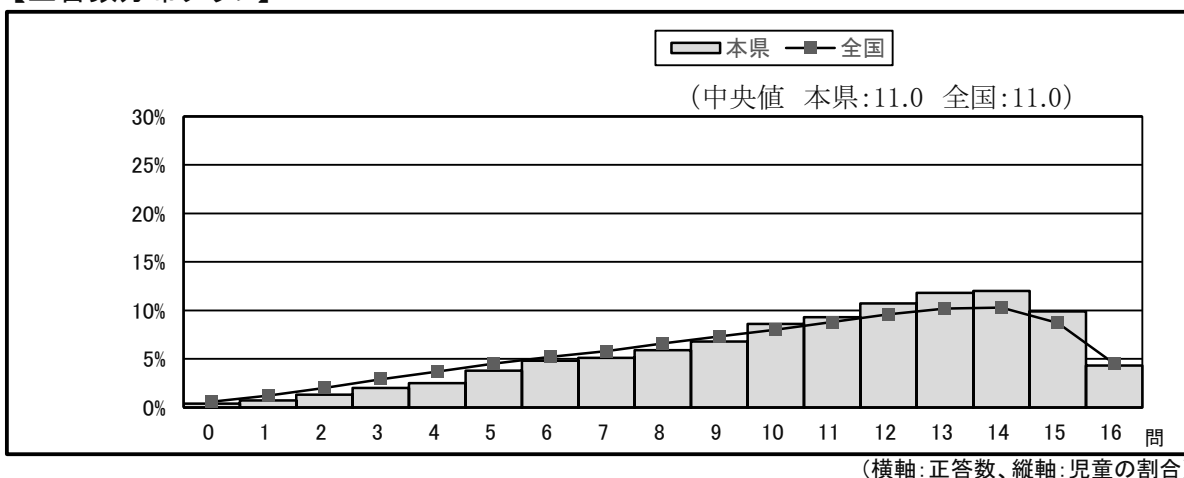
## 《小学校第6学年 算数》

### 算数

- ☆ 平均正答率は全国平均をやや上回るが、十分とはいえない。
- ☆ 数量の関係を、問題場面通りに□を用いた式に表すことや、直方体の見取図について理解し、かくことはできている。
- ☆ 道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を記述することや折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを記述することに課題がある。

	平均正答数	平均正答率	標準偏差
本県	10.7 / 16 問	67 %	3.6
全国	10.1 / 16 問	63.4 %	3.9

### 【正答数分布グラフ】



### 【正答率の高い問題】

問題番号	問題の概要	本県	全国
1	1(2) はじめに持っていた折り紙の枚数を□枚としたときの、問題場面を表す式を選ぶ	90.0	88.5
2	3(1) 作成途中の直方体の見取図について、辺として正しいものを選ぶ	89.7	85.5
3	5(1) 円グラフから、2023年の桜の開花日について、4月の割合を読み取って書く	84.8	80.8

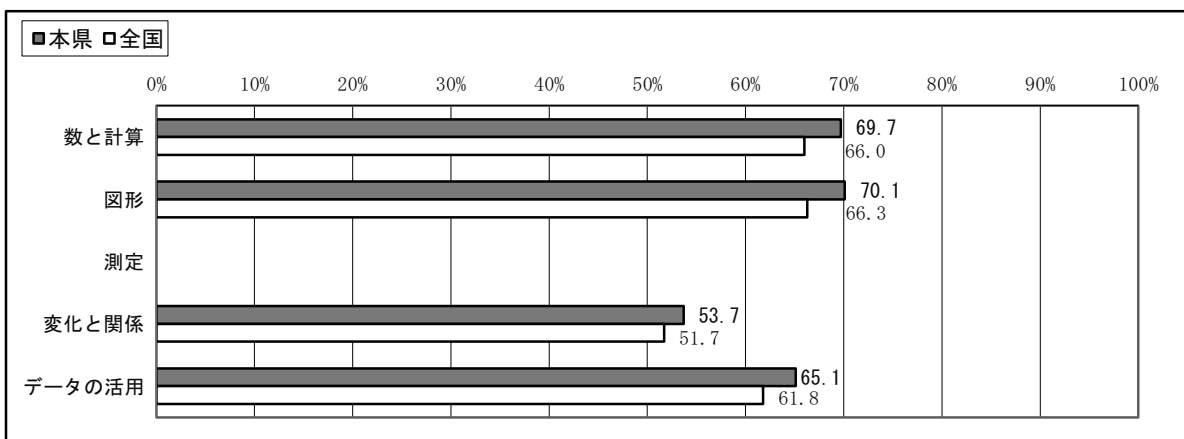
### 【正答率の低い問題】

問題番号	問題の概要	本県	全国
1	4(3) 家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いかを判断し、そのわけを書く	32.8	31.0
2	3(3) 直径22cmのボールがぴったり入る箱の体積を求める式を書く	39.9	36.5
3	5(3) 折れ線グラフから、開花日の月について、3月の回数と4月の回数の違いが最も大きい年代を読み取り、その年代について3月の回数と4月の回数の違いを書く	46.5	44.0

## 【到達状況の傾向】

◎:良好である ○:概ね良好である ◇:基準に到達している ▽:十分とはいえない ▼:不十分である

### 【領域等別の平均正答率】



#### 【数と計算】

- ◎ : 数量の関係を、□を用いた式に表すこと〔1(2)〕
- ▽ : 計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述すること〔2(1)〕

#### 【図形】

- : 直方体の見取図について理解し、かくこと〔3(1)〕
- ◇ : 角柱の底面や側面に着目し、五角柱の面の数とその理由を言葉と数を用いて記述すること〔3(4)〕

#### 【変化と関係】

- ▼ : 道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述すること〔4(3)〕
- ▼ : 速さの意味について理解すること〔4(4)〕

#### 【データの活用】

- ◇ : 簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理すること〔5(2)〕
- ▼ : 折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述すること〔5(3)〕

[ ]内:問題番号

【各問題の正答率等】

算数

■ : 正答率が全国より高い

□ : 正答率が全国より低い

問題番号	問題の概要	学習指導要領の領域					評価の観点			本県		全国	
		数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
1(1)	問題場面の数量の関係を捉え、持っている折り紙の枚数を求める式を選ぶ	○					○			65.2	0.0	62.1	0.2
1(2)	はじめに持っていた折り紙の枚数を□枚としたときの、問題場面を表す式を選ぶ	○					○			90.0	0.1	88.5	0.3
2(1)	$350 \times 2 = 700$ であることを基に、 $350 \times 16$ の積の求め方と答えを書く	○						○		65.4	2.3	56.9	3.4
2(2)	除数が $1/10$ になったときの商の大きさについて、正しいものを選ぶ	○					○			72.4	0.6	69.1	1.3
3(1)	作成途中の直方体の見取図について、辺として正しいものを選ぶ		○				○			89.7	0.2	85.5	0.6
3(2)	円柱の展開図について、側面の長方形の横の長さが適切なものを選ぶ		○				○			75.2	0.5	71.3	0.8
3(3)	直径 $22\text{cm}$ のボールがぴったり入る箱の体積を求める式を書く		○					○		39.9	6.2	36.5	9.8
3(4)	五角柱の面の数を書き、そのわけを底面と側面に着目して書く		○					○		75.8	1.3	72.0	1.8
4(1)	$540 \div 0.6$ を計算する	○					○			72.6	1.6	70.1	3.1

【各問題の正答率等】

算数

■ : 正答率が全国より高い

□ : 正答率が全国より低い

問題番号	問題の概要	学習指導要領の領域					評価の観点			本県		全国	
		数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
4(2)	3分間で180m歩くことを基に、1800mを歩くのにかかる時間を書く				○		○		72.8	1.9	70.0	3.3	
4(3)	家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いかを判断し、そのわけを書く				○		○		32.8	1.4	31.0	2.4	
4(4)	家から図書館までの自転車の速さが分速何mかを書く				○		○		55.4	3.0	54.1	4.6	
5(1)	円グラフから、2023年の桜の開花日について、4月の割合を読み取って書く					○	○		84.8	1.0	80.8	1.8	
5(2)	示されたデータから、1960年代のC市について、開花日が3月だった年と4月だった年がそれぞれ何回あったかを読み取り、表に入る数を書く					○	○		76.8	2.5	73.3	3.9	
5(3)	折れ線グラフから、開花日の月について、3月の回数と4月の回数の違いが最も大きい年代を読み取り、その年代について3月の回数と4月の回数の違いを書く					○	○		46.5	9.7	44.0	12.6	
5(4)	示された桜の開花予想日の求め方を基に、開花予想日を求める式を選び、開花予想日を書く	○				○	○		52.5	2.2	49.3	4.0	

## 《中学校第3学年 国語》

### 国語

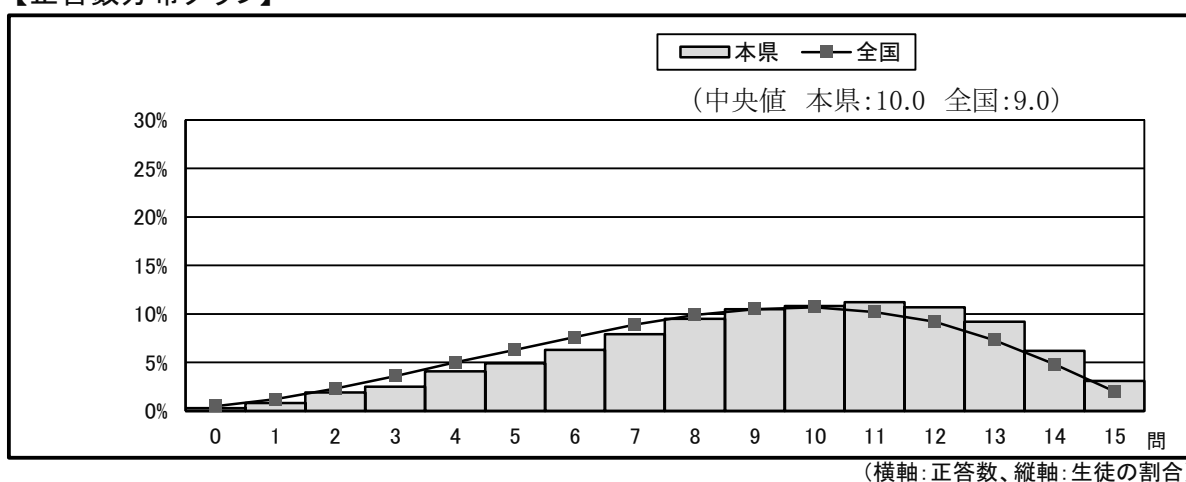
☆ 平均正答率は全国平均をやや上回るが、十分とはいえない。

☆ 目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることや行書の特徴を理解することはできている。

☆ 文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することに課題がある。

	平均正答数	平均正答率	標準偏差
本県	9.3 / 15 問	62 %	3.3
全国	8.7 / 15 問	58.1 %	3.4

### 【正答数分布グラフ】



### 【正答率の高い問題】

問題番号	問題の概要	本県	全国
1	3一 物語を書くために集めた材料を取捨選択した意図を説明したのとして適切なものを選択する	83.5	81.4
2	4三 行書の特徴を踏まえた書き方について説明したのとして適切なものを選択する	82.7	75.6
3	2二 本文中の情報と情報との関係を説明したのとして適切なものを選択する	77.8	75.2

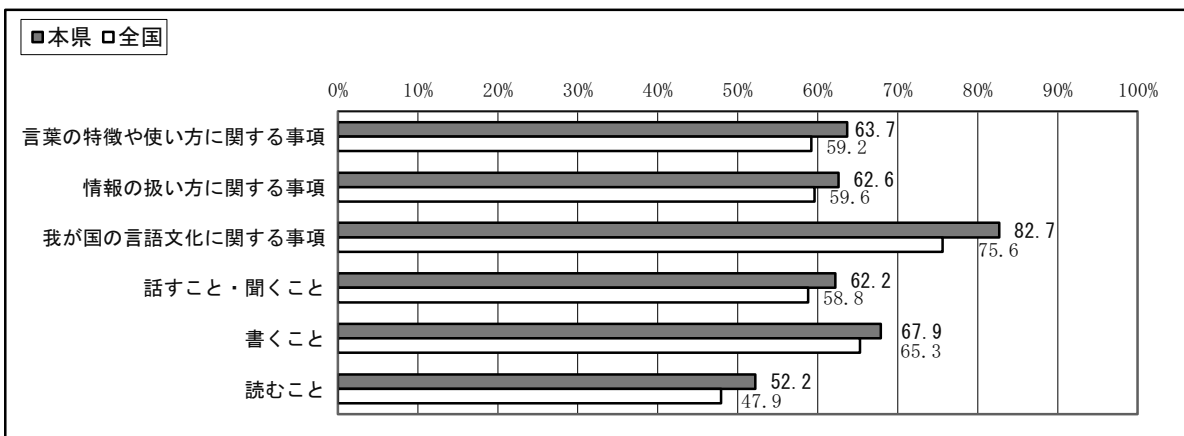
### 【正答率の低い問題】

問題番号	問題の概要	本県	全国
1	2一 本文中の図の役割を説明したのとして適切なものを選択する	41.5	36.3
2	2四 本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約する	47.3	42.6
3	1三 話合いの中の発言について説明したのとして適切なものを選択する	47.4	44.0

【到達状況の傾向】

◎:良好である ○:概ね良好である ◇:基準に到達している ▽:十分とはいえない ▼:不十分である

【領域等別の平均正答率】



【知識及び技能】

【言葉の特徴や使い方に関する事項】

- ◇ : 文脈に即して漢字を正しく書くこと〔3三〕
- ▽ : 表現の技法について理解していること〔4一〕

【情報の扱い方に関する事項】

- ◇ : 具体と抽象など情報と情報との関係について理解していること〔2二〕
- ▼ : 意見と根拠など情報と情報との関係について理解していること〔1三〕

【我が国の言語文化に関する事項】

- : 行書の特徴を理解していること〔4三〕

【思考力、判断力、表現力等】

【話すこと・聞くこと】

- ◇ : 資料を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように話すこと〔1二〕
- ▼ : 話合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめること〔1四〕

【書くこと】

- : 目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること〔3一〕
- ▼ : 表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること〔3四〕

【読むこと】

- ▽ : 文章の全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えること〔2三〕
- ▼ : 文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈すること〔2一〕

[ ]内:問題番号

【各問題の正答率等】

国語

■ : 正答率が全国より高い

□ : 正答率が全国より低い

問題番号	問題の概要	学習指導要領の内容						評価の観点			本県		全国	
		知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
		言葉の特徴や使い方に 関する事項	情報の扱い方に 関する事項	我が国の言語文化に 関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと							
1一	話合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する				○			○			65.4	0.4	63.2	0.4
1二	話合いの中で発言する際に指し示している資料の部分として適切な部分を○で囲む				○			○			71.4	3.2	68.5	3.5
1三	話合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する		○					○			47.4	0.6	44.0	0.5
1四	話合いの話題や発言を踏まえ、「これからどのように本を選びたいか」について自分の考えを書く				○			○			49.9	9.3	44.7	9.9
2一	本文中の図の役割を説明したものとして適切なものを選択する							○	○		41.5	0.5	36.3	0.5
2二	本文中の情報と情報との関係を説明したものとして適切なものを選択する		○					○			77.8	0.5	75.2	0.6
2三	本文中に示されている二つの例の役割をまとめた文の空欄に入る言葉として適切なものをそれぞれ選択する							○	○		67.8	0.6	64.5	0.6
2四	本文に書かれていることを理解するために、着目する内容を決めて要約する							○	○		47.3	10.4	42.6	8.4



【各問題の正答率等】

国語

■ : 正答率が全国より高い

□ : 正答率が全国より低い

問題番号	問題の概要	学習指導要領の内容						評価の観点			本県		全国	
		知識及び技能			思考力、判断力、表現力等			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
		言葉の特徴や使い方に関する事項	情報の扱い方に関する事項	我が国の言語文化に関する事項	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと							
3一	物語を書くために集めた材料を取捨選択した意図を説明したものとして適切なものを選択する					○		○			83.5	0.6	81.4	0.7
3二	物語の下書きについて、文中の語句の位置を直した意図を説明したものとして適切なものを選択する	○						○			57.1	1.1	53.8	1.0
3三	漢字を書く(みちたりた)	○						○			73.2	7.8	68.8	10.2
3四	表現を工夫して物語の最後の場面を書き、工夫した表現の効果を説明する					○		○			52.3	15.8	49.3	15.0
4一	短歌に用いられている表現の技法を説明したものとして適切なものを選択する	○						○			60.8	1.6	54.9	1.8
4二	短歌に詠まれている情景の時間帯の違いを捉え、時間の流れに沿って短歌の順番を並べ替える							○	○		52.3	2.9	48.3	3.4
4三	行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する			○				○			82.7	2.0	75.6	2.3

## 《中学校第3学年 数学》

### 数学

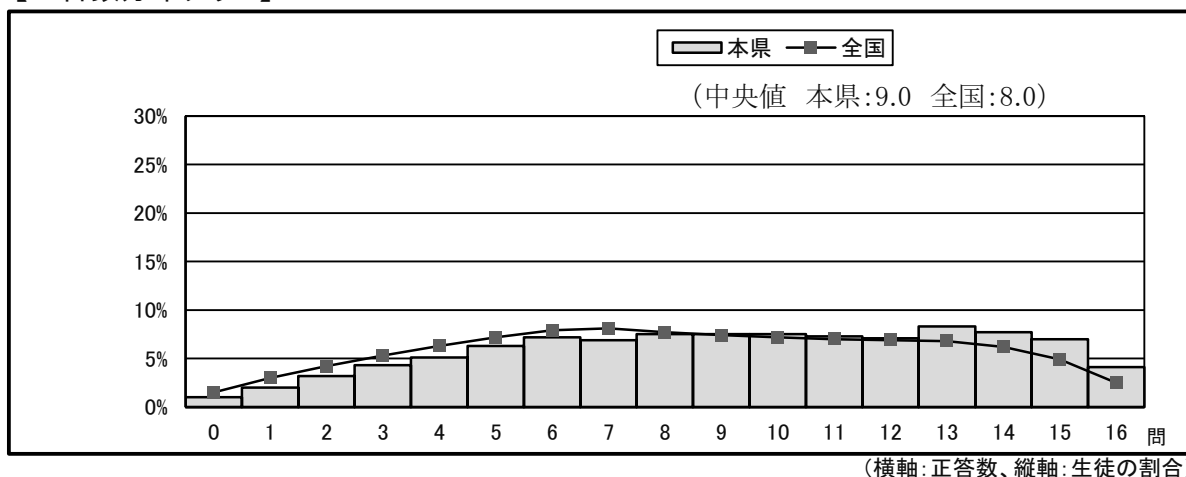
☆ 平均正答率は全国平均をやや上回るが、不十分である。

☆ 問題場面における考察の対象を明確に捉え、正の数と負の数の加法の計算をすることや、グラフにおけるy軸との交点について、事象に即して解釈することはできている。

☆ 筋道を立てて考え、証明することや、複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに引き続き課題がある。

	平均正答数	平均正答率	標準偏差
本県	9.2 / 16 問	57 %	4.2
全国	8.4 / 16 問	52.5 %	4.1

### 【正答数分布グラフ】



### 【正答率の高い問題】

問題番号	問題の概要	本県	全国
1 6(1)	正三角形の各頂点に○を、各辺に□をかいた図において、○に3、-5を入れるとき、その和である□に入る整数を求める	91.9	90.2
2 8(1)	ストーブの使用時間と灯油の残量の関係を表すグラフとy軸との交点Pのy座標の値が表すものを選ぶ	86.6	83.4
3 8(3)	結衣さんがかいたグラフから、18Lの灯油を使い切るような「強」と「弱」のストーブの設定の組み合わせとその使用時間を書く	81.2	76.9

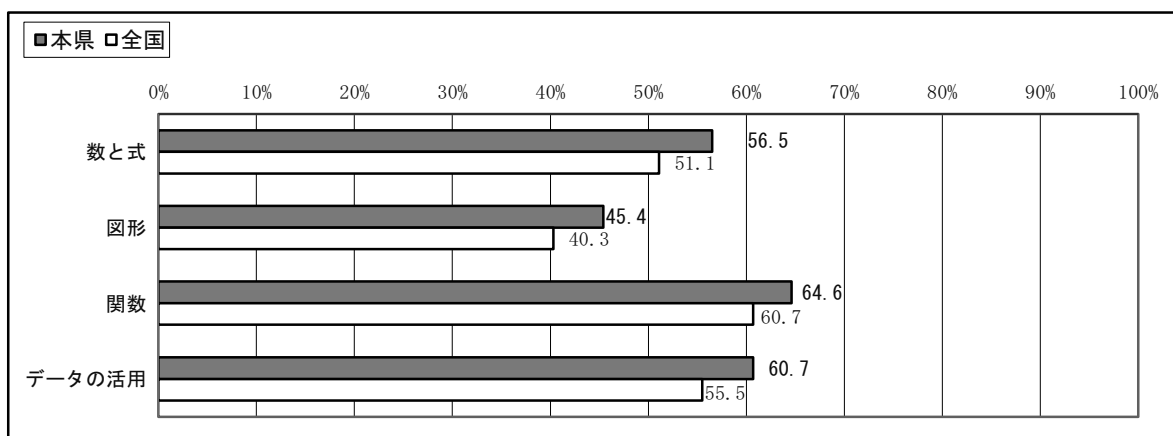
### 【正答率の低い問題】

問題番号	問題の概要	本県	全国
1 8(2)	18Lの灯油を使いきるまでの「強」の場合と「弱」の場合のストーブの使用時間の違いがおよそ何時間になるかを求める方法を、式やグラフを用いて説明する	22.5	17.1
2 9(1)	点Cを線分AB上にとり、線分ABについて同じ側に正三角形PACとQCBをつくるとき、AQ=PBであることを、三角形の合同を基にして証明する	29.2	25.8
3 7(2)	車型ロボットについて「速さが段階1から段階5まで、だんだん速くなるにつれて、10cmの位置から進んだ距離が長くなる傾向にある」と主張することができる理由を、5つの箱ひげ図を比較して説明する	32.6	25.9

## 【到達状況の傾向】

◎:良好である ○:概ね良好である ◇:基準に到達している ▼:十分とはいえない ▼:不十分である

### 【領域等別の平均正答率】



#### 【数と式】

- ◎ : 問題場面における考察の対象を明確に捉え、正の数と負の数の加法の計算ができること〔6(1)〕
- ▼ : 連続する二つの偶数を、文字を用いた式で表すこと〔1〕

#### 【図形】

- ▼ : 筋道を立てて考え、証明すること〔9(1)〕
- ▼ : 事象を角の大きさに着目して観察し、問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見いだすこと〔9(2)〕

#### 【関数】

- : 二つのグラフにおけるy軸との交点について、事象に即して解釈すること〔8(1)〕
- : グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈すること〔8(3)〕

#### 【データの活用】

- ◇ : 与えられたデータから最頻値を求めること〔7(1)〕
- ◇ : 簡単な場合について、確率を求めること〔5〕

[ ]内:問題番号

【各問題の正答率等】

数学

■ : 正答率が全国より高い

□ : 正答率が全国より低い

問題番号	問題の概要	学習指導要領の領域				評価の観点			本県		全国	
		数と式	図形	関数	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
1	nを整数とすると、連続する二つの偶数を、それぞれnを用いた式で表す	○				○			40.2	11.1	34.8	14.3
2	等式 $6x + 2y = 1$ をyについて解く	○				○			57.4	8.0	52.5	9.7
3	正方形が回転移動したとき、回転前の正方形の頂点に対応する頂点を、回転後の正方形から選ぶ		○			○			74.1	0.2	68.3	0.3
4	一次関数 $y = ax + b$ について、 $a = 1$ 、 $b = 1$ のときのグラフに対して、bの値を変えずに、aの値を大きくしたときのグラフを選ぶ			○		○			67.9	0.6	65.3	0.7
5	2枚の10円硬貨を同時に投げるとき、2枚とも裏が出る確率を求める				○	○			75.2	3.0	73.1	4.2
6(1)	正三角形の各頂点に○を、各辺に□をかいた図において、○に3、-5を入れるとき、その和である□に入る整数を求める	○				○			91.9	2.0	90.2	2.5
6(2)	正三角形の各頂点に○を、各辺に□をかいた図において、□に入る整数の和が○に入れた整数の和の2倍になることの説明を完成する	○					○		43.4	21.6	35.9	23.5
6(3)	正四面体の各頂点に○を、各辺に□をかいた図において、○に入れた整数の和と□に入る整数の和について予想できることを説明する	○					○		49.6	26.0	41.8	29.6
7(1)	障害物からの距離が10cmより小さいことを感知して止まる設定にした車型ロボットについて実験した結果を基に、10cmの位置から進んだ距離の最頻値を求める				○	○			79.8	4.2	74.3	5.8

【各問題の正答率等】

数学

■ : 正答率が全国より高い

□ : 正答率が全国より低い

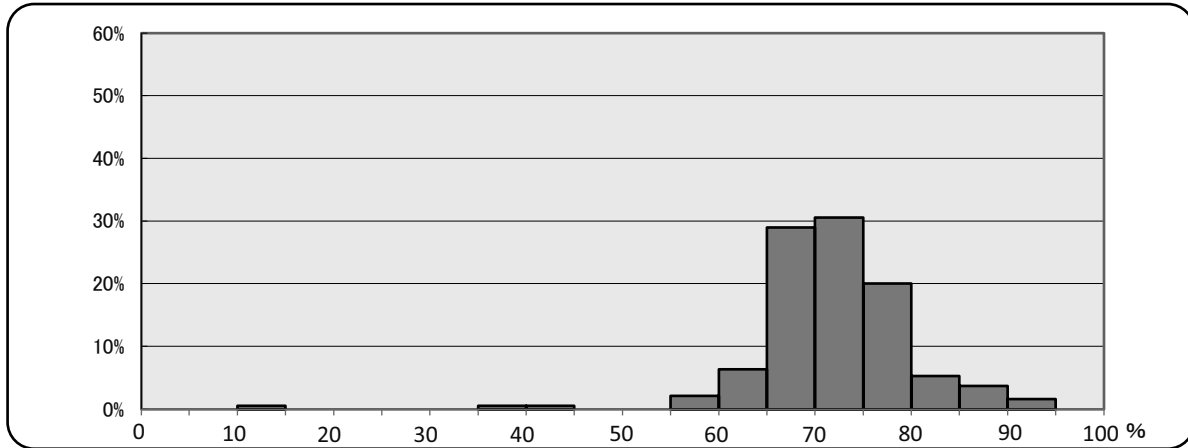
問題番号	問題の概要	学習指導要領の領域				評価の観点			本県		全国	
		数と式	図形	関数	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
7(2)	車型ロボットについて「速さが段階1から段階5まで、だんだん速くなるにつれて、10cmの位置から進んだ距離が長くなる傾向にある」と主張することができる理由を、5つの箱ひげ図を比較して説明する				○		○		32.6	24.8	25.9	29.4
7(3)	車型ロボットについて、障害物からの距離の設定を変えて調べたデータの分布から、四分位範囲について読み取れることとして正しいものを選ぶ				○	○			55.0	0.6	48.5	0.9
8(1)	ストーブの使用時間と灯油の残量の関係を表すグラフとy軸との交点Pのy座標の値が表すものを選ぶ			○		○			86.6	0.5	83.4	0.8
8(2)	18Lの灯油を使いきるまでの「強」の場合と「弱」の場合のストーブの使用時間の違いがおよそ何時間になるかを求める方法を、式やグラフを用いて説明する			○			○		22.5	15.7	17.1	16.4
8(3)	結衣さんがかいたグラフから、18Lの灯油を使い切るような「強」と「弱」のストーブの設定の組み合わせとその使用時間を書く			○		○			81.2	2.8	76.9	3.8
9(1)	点Cを線分AB上にとり、線分ABについて同じ側に正三角形PACとQCBをつくるとき、AQ=PBであることを、三角形の合同を基にして証明する		○				○		29.2	32.4	25.8	33.6
9(2)	点Cを線分AB上にとり、線分ABについて同じ側に正三角形PACとQCBをつくるとき、∠AQCと∠BPCの大きさについていえることの説明として正しいものを選ぶ		○				○		32.8	3.6	26.7	4.5

(2) 学校の分布状況

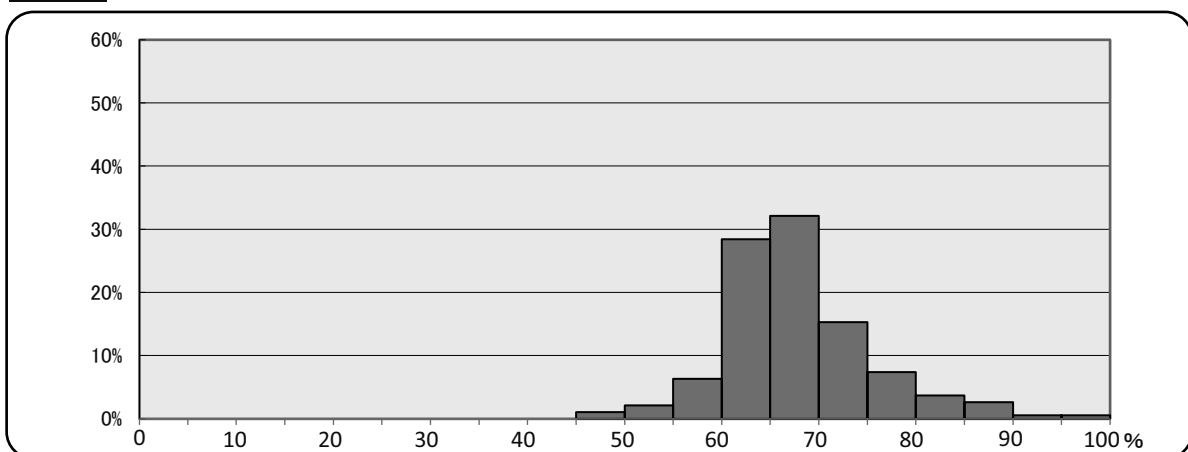
《公立小学校第6学年》

学校数	190 校
-----	-------

国語



算数

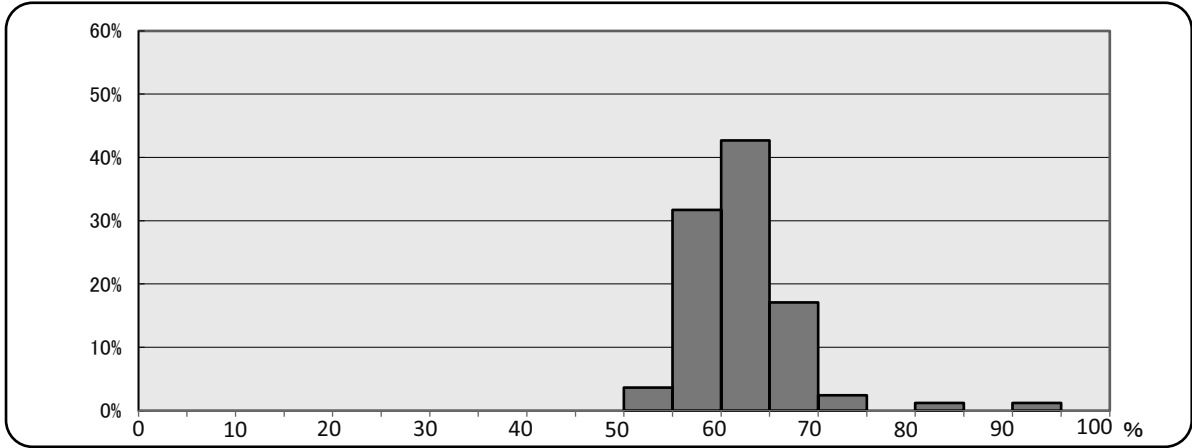


(横軸: 学校の平均正答率 縦軸: 学校数の割合)

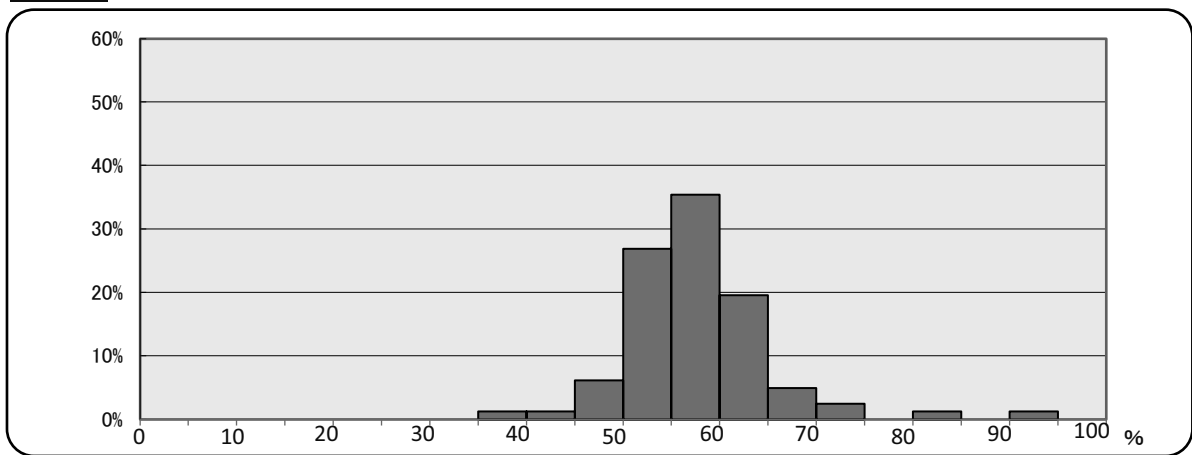
《公立中学校第3学年》

学校数	82 校
-----	------

国語



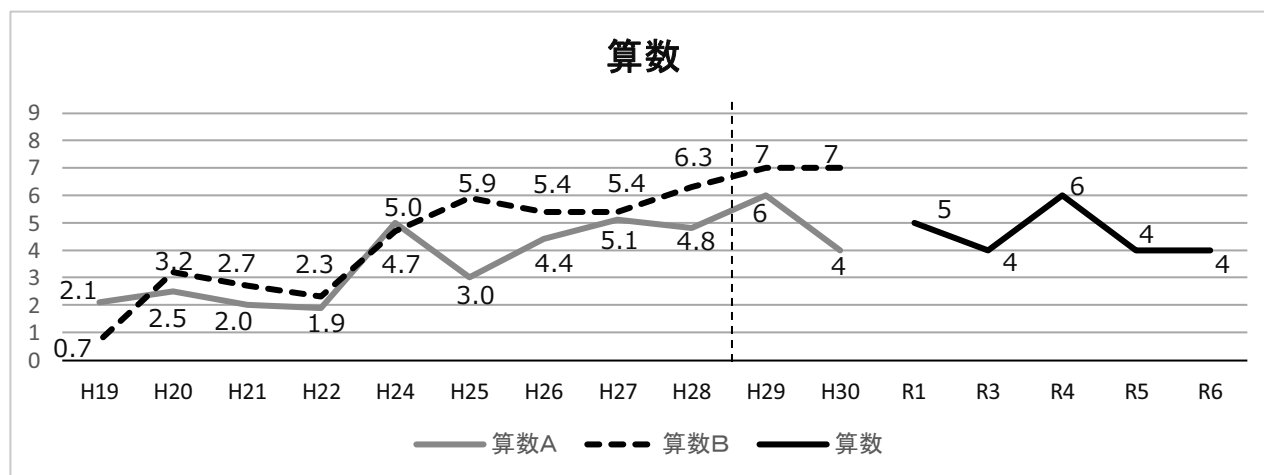
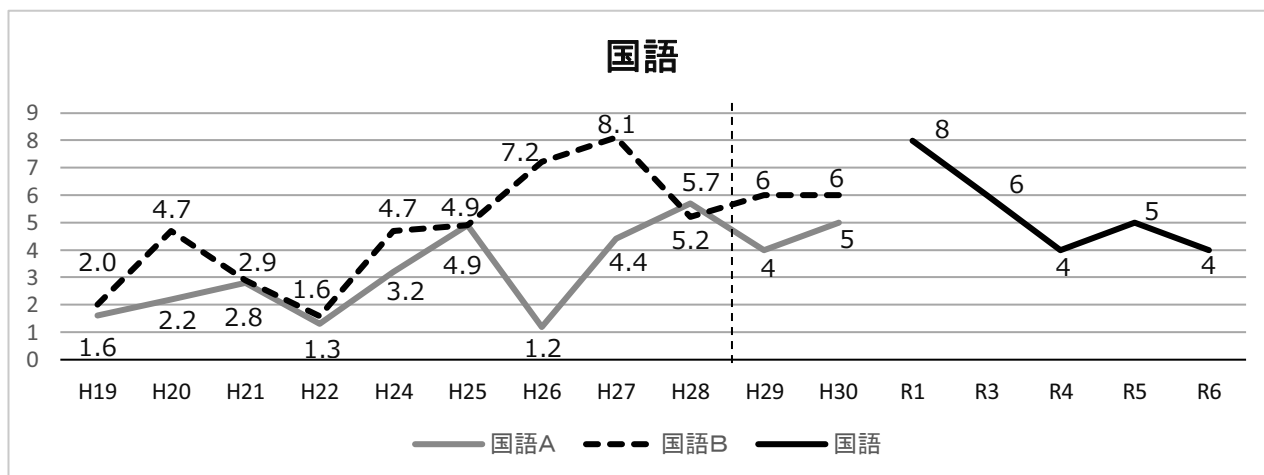
数学



(横軸: 学校の平均正答率 縦軸: 学校数の割合)

(3) 平均正答率の全国との差の変動(国語、算数・数学)

小学校



(横軸:年度 縦軸:ポイント)

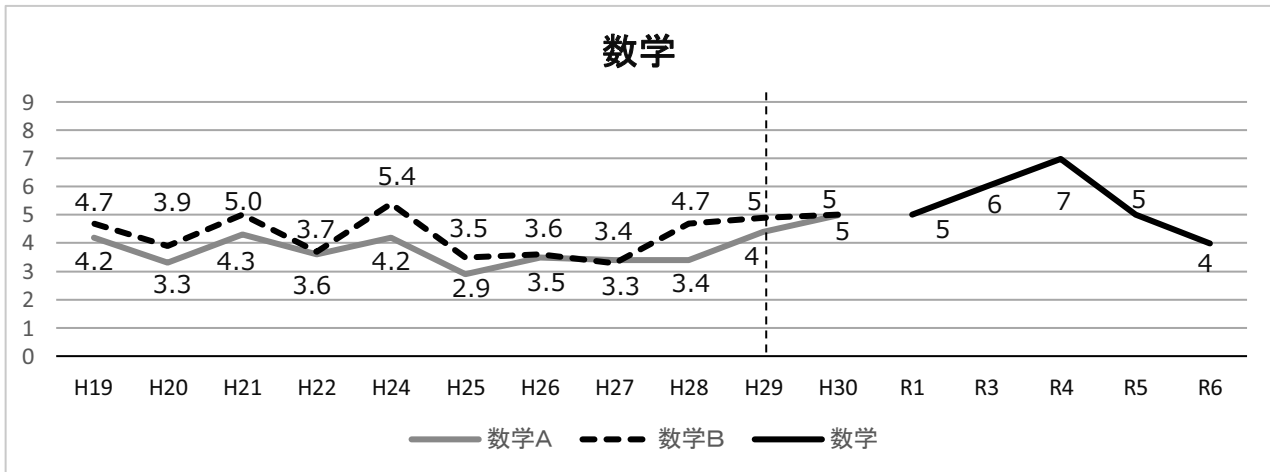
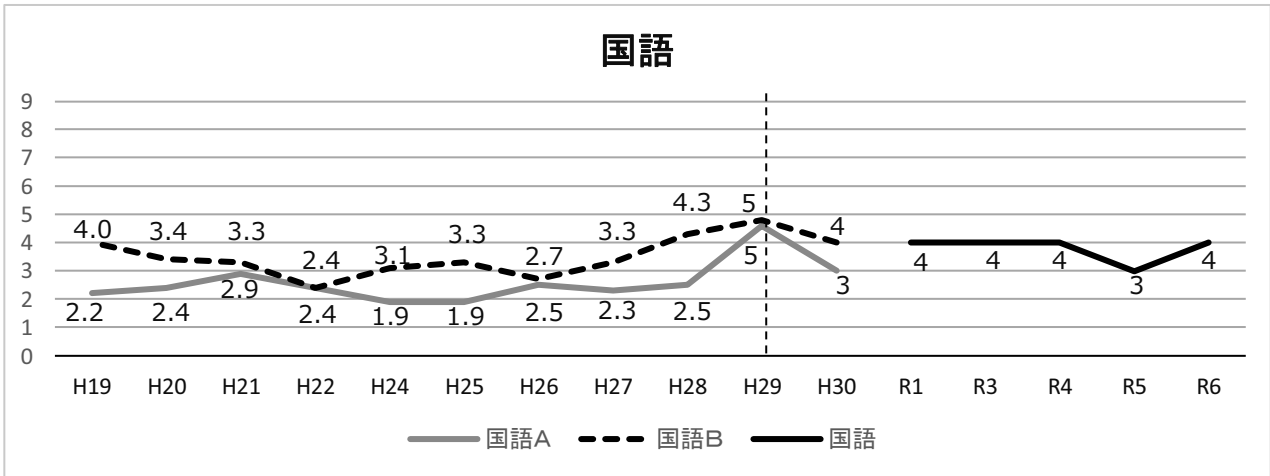
※ 平成29年度より、文部科学省は、県の平均正答率を整数値で公表している。そのため、国と県のそれぞれの平均正答率を整数値として算出し、その差を示したものである。

※ 令和元年度より、従来のA問題(知識)とB問題(活用)という区分を見直した知識・活用を一体的に問う調査問題となる。

※ 悉皆調査(H19~H21、H26~)、抽出調査(H22、H24)、文部科学省による調査は中止(H23、R2)



## 中学校



(横軸:年度 縦軸:ポイント)

- ※ 平成29年度より、文部科学省は、県の平均正答率を整数値で公表している。そのため、国、県、それぞれの平均正答率を整数値として算出し、その差を示したものである。
- ※ 令和元年度より、従来のA問題(知識)とB問題(活用)という区分を見直した知識・活用を一体的に問う調査問題となる。
- ※ 悉皆調査(H19～H21、H26～)、抽出調査(H22、H24)、文部科学省による調査は中止(H23、R2)

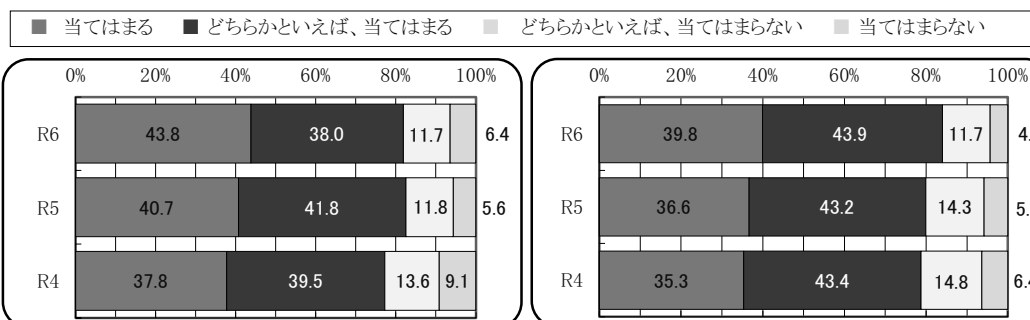
## 2 質問調査の結果

### (1) 児童生徒質問調査

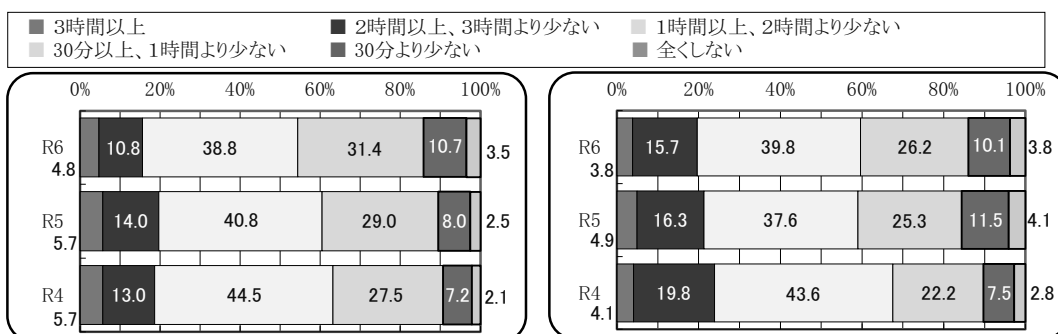
【小学校】

【中学校】

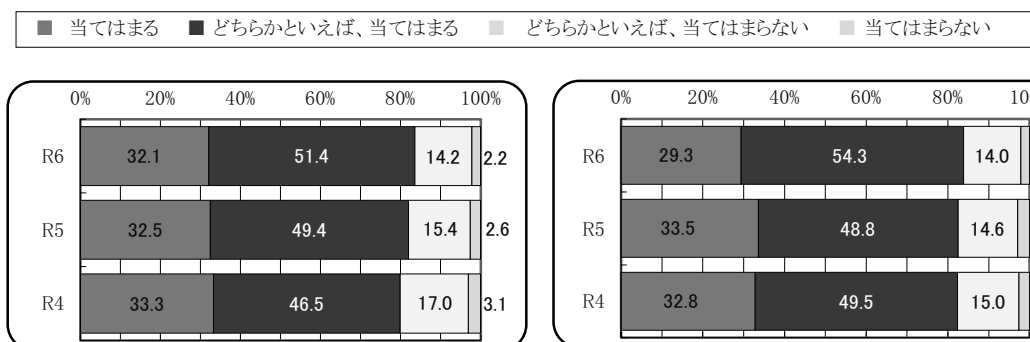
◇ 自分には、よいところがあると思いますか



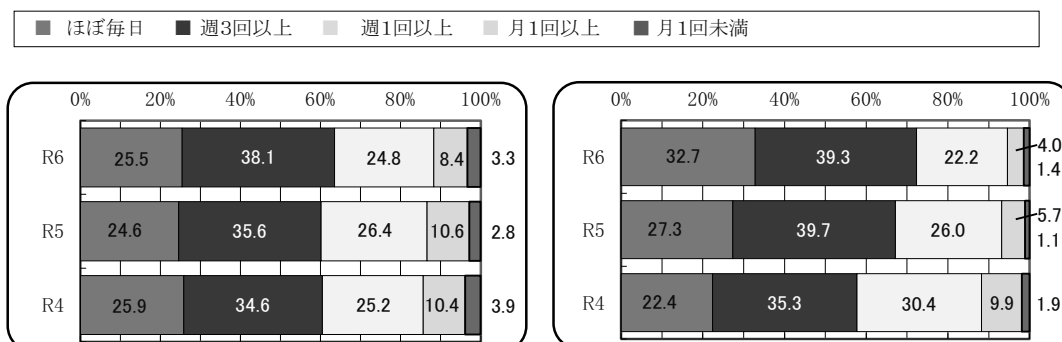
◇ 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



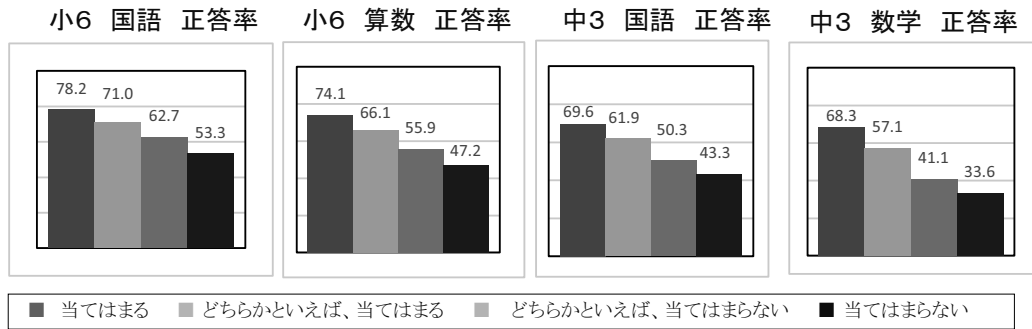
◇ 前年度までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



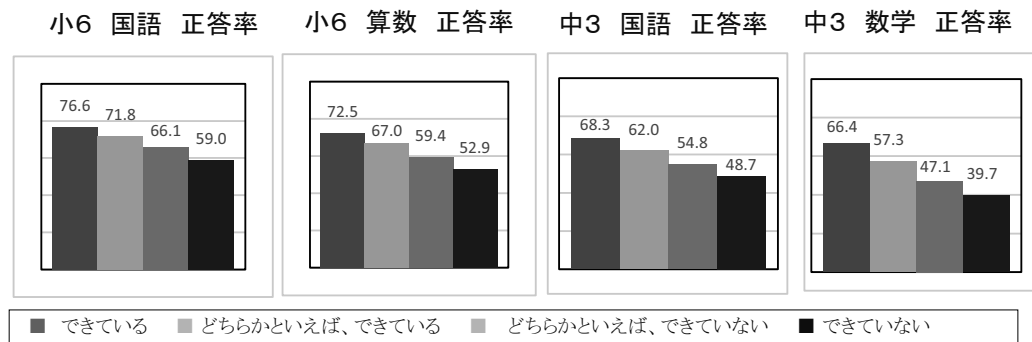
◇ 前年度までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



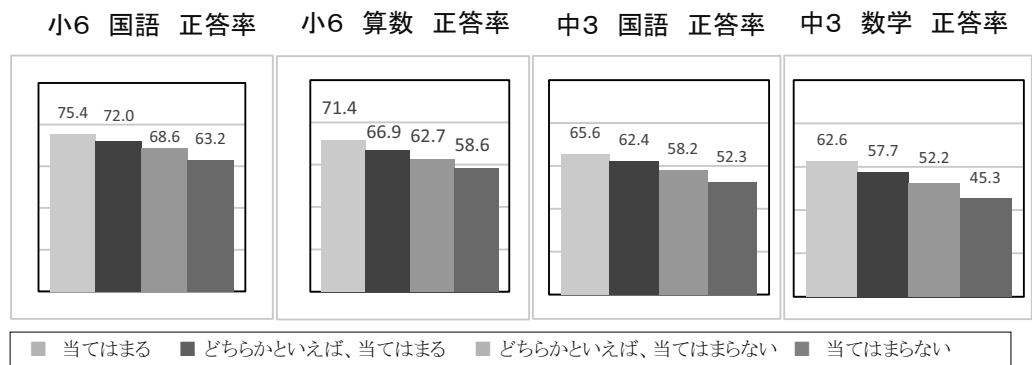
◇ 前年度までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



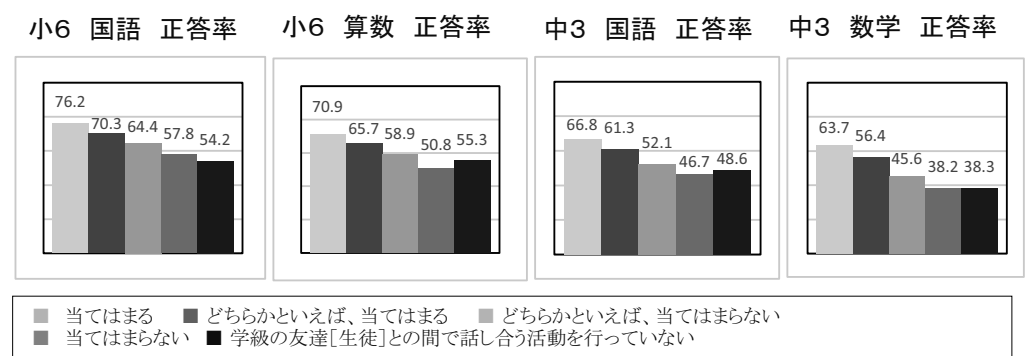
◇ 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分の学び方を考え、工夫することはできていますか



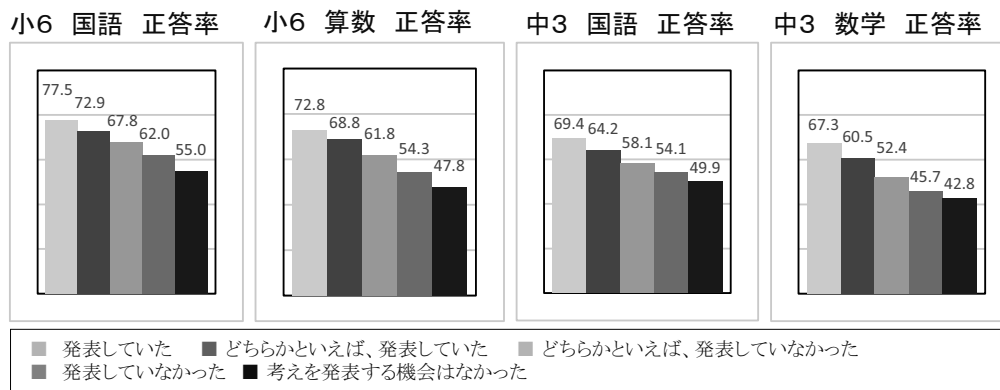
◇ 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思えますか



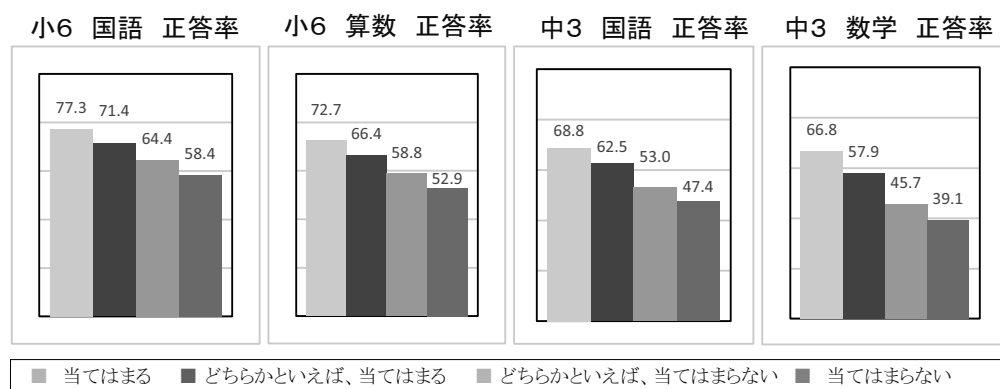
◇ 学級の友達[生徒]との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



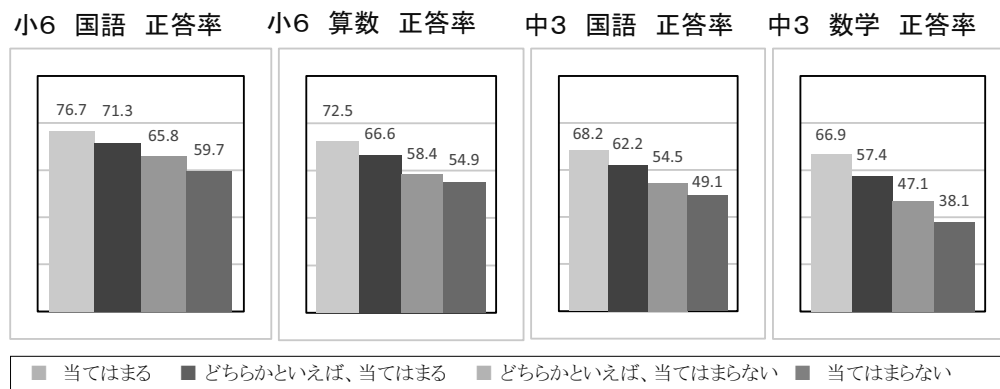
◇ 前年度までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか



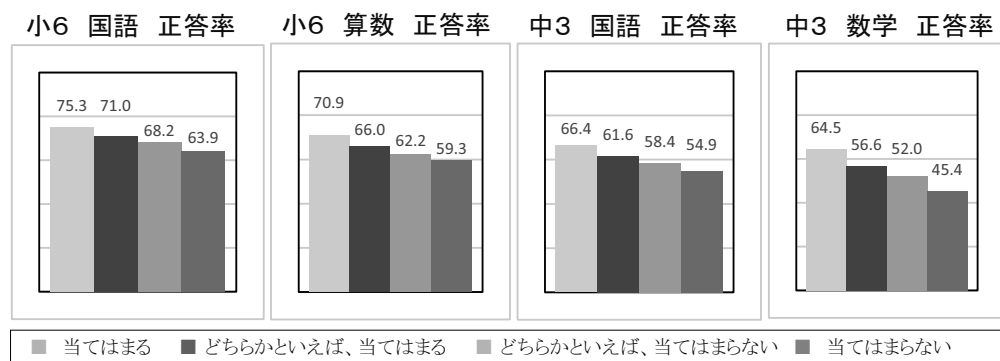
◇ 前年度までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行いましたか



◇ 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか



◇ 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができますか



※児童生徒質問調査において、各教科区分とのクロス集計したグラフから抜粋

<表記について>

△: 全国より2ポイント以上高い      ↑: 前年度(前回)より2ポイント以上高い

▼: 全国より2ポイント以上低い      ※: 未実施

① 基本的な生活習慣等

項目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
朝食を毎日食べている	R6	94.7	93.7		94.3	91.2	△
	R5	94.9	93.9		93.6	91.2	△
	R4	95.7	94.4		94.8	91.9	△
毎日、同じくらいの時刻に寝ている	R6	84.2	82.9		↑ 84.5	↑ 80.7	△
	R5	83.4	81.0	△	81.8	78.0	△
	R4	83.2	81.5		84.5	79.9	△
毎日、同じくらいの時刻に起きている	R6	92.9	91.6		94.4	92.5	
	R5	91.6	90.5		93.9	91.3	△
	R4	91.1	90.4		94.7	92.2	△
普段(月曜日から金曜日)、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯型のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)を2時間以上する	R6	48.4	49.2		43.0	48.9	▼
	R4	47.5	50.2	▼	41.7	50.3	▼
	R3	47.8	49.4		50.6	57.0	▼
普段(月曜日から金曜日)、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴など(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)を2時間以上する	R6	32.5	33.8		↑ 49.9	↑ 55.9	▼
	R4	31.6	32.5		44.3	52.0	▼
	※	※	※		※	※	
携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている	R6	70.0	71.1		70.0	↑ 72.2	▼
	R4	72.3	71.5		↑ 69.3	69.5	
	R3	71.4	70.1		65.6	67.9	▼

② 挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等

項目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
自分には、よいところがあると思う	R6	81.8	84.1	▼	↑ 83.7	↑ 83.3	
	R5	↑ 82.5	↑ 83.5		79.8	80.0	
	R4	77.3	79.3	▼	78.7	78.5	
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う	R6	89.0	89.9		↑ 89.1	↑ 90.4	
	R5	↑ 90.0	↑ 89.8		85.7	87.3	
	R4	87.1	87.1		85.9	86.6	
将来の夢や目標を持っている	R6	79.3	82.4	▼	63.8	66.3	▼
	R5	79.1	81.5	▼	65.8	66.3	
	R4	77.2	79.8	▼	67.1	67.3	
人が困っているときは、進んで助けている	R6	92.7	92.7		↑ 91.4	↑ 90.1	
	R5	↑ 91.6	↑ 91.6		89.1	88.1	
	R4	87.9	88.9		89.7	88.4	

項目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	R6	97.2	96.7		96.6	95.7	
	R5	97.3	96.9		95.7	95.5	
	R4	97.2	96.8		97.4	96.4	
困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる	R6	62.8	67.1	▼	67.7	67.5	
	R5	67.9	68.5		67.7	66.4	
	R4	67.5	68.1		67.6	66.6	
人の役に立つ人間になりたいと思う	R6	96.4	95.9		96.1	95.2	
	R5	96.4	95.9		94.7	94.6	
	R4	95.6	95.1		96.1	95.0	
学校に行くのは楽しいと思う	R6	84.8	84.8		↑ 86.1	↑ 83.8	△
	R5	84.6	85.3		81.6	81.8	
	R4	83.3	85.4	▼	82.9	82.9	
自分と違う意見について考えるのは楽しい	R6	74.5	75.8		78.3	76.2	△
	R5	↑ 76.5	↑ 76.5		78.5	77.6	
	R4	72.8	73.5		78.9	76.9	△
友達関係に満足している	R6	91.7	91.1		91.4	90.1	
	R5	90.9	90.3		90.0	88.7	
	※	※	※		※	※	
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある	R6	91.0	91.7		↑ 91.1	↑ 89.8	
	R5	91.2	91.0		88.4	86.8	
	※	※	※		※	※	
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれた	R6	89.6	87.9		86.6	84.9	
	R5	94.7	93.0		↑ 89.3	↑ 88.9	
	R1	93.7	91.7	△	85.5	84.6	

### ③ 学習習慣、学習環境等

項目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできている	R6	79.6	80.7		80.4	78.6	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
普段(月曜日から金曜日)、1時間以上勉強(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)をしている	R6	54.4	54.6		59.3	64.3	▼
	R5	60.5	57.1	△	58.8	65.8	▼
	R4	63.2	59.4	△	67.5	69.5	▼
学校が休みの日に1日2時間以上勉強(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)をしている	R6	17.0	21.5	▼	37.8	36.2	
	R5	21.7	24.7	▼	40.4	40.0	
	R4	24.1	26.2	▼	49.0	44.9	△
新聞を週1回以上読んでいます	R6	12.9	11.6		9.1	7.3	
	R5	14.6	12.6	△	10.2	8.1	△
	R4	16.0	13.8	△	12.1	9.4	△

④ 地域や社会に関わる活動の状況

項目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	R6	↑ 84.2	↑ 83.5		↑ 80.2	↑ 76.1	△
	R5	79.6	76.8	△	68.2	63.9	△
	※	※	※		※	※	

⑤ ICTを活用した学習状況

項目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
前学年までに受けた授業で、週1回以上PC・タブレットなどのICT機器を使用した	R6	88.4	85.5	△	94.2	89.0	△
	R5	86.6	↑ 86.3		↑ 93.0	↑ 87.5	△
	R4	85.7	83.2	△	88.1	80.6	△
自分のペースで理解しながら学習を進めることができる	R6	86.2	85.5		83.3	80.2	△
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
分からないことがあった時に、すぐ調べることができる	R6	92.5	92.1		94.9	93.9	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
楽しみながら学習を進めることができる	R6	87.4	86.0		85.6	82.4	△
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよく分かる	R6	90.6	89.8		91.4	89.0	△
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる	R6	80.6	79.2		82.1	77.7	△
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる	R6	89.4	86.1	△	90.6	86.2	△
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
友達と協力しながら学習を進めることができる	R6	89.2	87.1	△	88.7	85.2	△
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
普段(月曜日から金曜日)、1時間以上、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っている	R6	↑ 19.9	19.8		14.6	↑ 16.6	▼
	R5	16.3	17.9		12.8	13.4	
	※	※	※		※	※	

⑥ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

項 目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた	R6	↑ 67.4	↑ 67.6		60.5	↑ 64.8	▼
	R5	65.3	63.7		59.6	62.1	▼
	R4	67.1	65.4		61.1	63.3	▼
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	R6	83.5	↑ 81.9		83.6	80.3	△
	R5	↑ 81.9	78.8	△	82.3	79.2	△
	R4	79.8	77.3	△	82.3	79.2	△
授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた	R6	↑ 81.8	↑ 79.6	△	↑ 79.9	↑ 75.4	△
	R5	↑ 77.8	↑ 74.4	△	76.1	69.1	△
	R4	74.7	72.2	△	76.5	67.4	△
授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた	R6	87.1	84.3	△	↑ 84.3	↑ 80.9	△
	R5	↑ 85.9	↑ 82.9	△	79.2	74.9	△
	R4	82.2	79.7	△	81.4	75.3	△
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができる	R6	87.3	86.3		87.9	86.1	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる	R6	↑ 81.7	↑ 80.8		↑ 79.2	↑ 77.9	
	R5	78.7	77.4		71.4	69.2	△
	R4	79.9	78.2		76.7	74.7	△
授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができる	R6	82.5	83.7		79.2	79.0	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる	R6	92.6	91.6		93.9	92.3	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	

⑦ 総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科 道徳

項 目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる	R6	↑ 84.5	↑ 81.3	△	↑ 87.9	↑ 82.2	△
	R5	↑ 79.5	↑ 74.8	△	83.5	72.6	△
	R4	77.4	72.7	△	84.0	72.1	△
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会[学級活動]で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている	R6	↑ 87.8	↑ 84.2	△	↑ 89.7	↑ 86.3	△
	R5	↑ 82.7	↑ 77.2	△	82.5	77.9	△
	R4	78.3	73.5	△	82.4	76.8	△



項目	小学校第6学年			中学校第3学年			
	本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較	
学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる	R6	↑ 85.7	↑ 82.5	△	↑ 84.3	↑ 80.6	△
	R5	79.2	75.7	△	76.8	71.6	△
	R4	78.6	73.8	△	78.2	71.7	△
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる	R6	↑ 88.5	↑ 88.2		↑ 92.0	↑ 91.7	
	R5	↑ 86.0	↑ 83.6	△	88.0	86.3	
	R4	81.4	80.0		88.7	85.5	△

⑧ 学習に対する興味・関心や授業の理解度等(国語)

項目	小学校第6学年			中学校第3学年			
	本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較	
国語の勉強は好きだ	R6	62.2	62.0		↑ 68.6	↑ 64.3	△
	R5	61.3	↑ 61.5		65.2	61.4	△
	R4	59.8	59.2		66.8	61.9	△
国語の勉強は大切だ	R6	95.1	94.5		94.6	93.9	
	R5	95.5	94.2		92.7	92.4	
	R4	94.3	93.3		93.9	93.2	
国語の授業の内容はよく分かる	R6	87.6	86.3		↑ 86.2	↑ 82.7	△
	R5	87.7	85.7	△	83.3	80.0	△
	R4	86.5	84.0	△	85.5	81.2	△
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	R6	93.7	93.2		↑ 92.5	90.6	
	R5	94.3	92.8		89.8	88.7	
	R4	92.9	91.8		91.2	89.7	
国語の授業で話を聞いたり文章を読んだりするときに、具体的な情報と抽象的な情報との関係を捉えて理解している	R6	※	※		80.8	78.7	△
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
国語の授業で、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている	R6	※	※		82.9	80.5	△
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
国語の授業で、自分の考えが伝わるように、表現の効果を考えて文章を書いている	R6	※	※		79.1	76.7	△
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
国語の授業で、説明的な文章を読み、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している	R6	※	※		84.1	82.0	△
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
国語の授業で、違う点や似ている点を意識したり、図で示したりしながら、情報を整理している	R6	78.6	78.3		※	※	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
国語の授業で、目的に応じて、話すために集めた材料を、いくつかのまとまりに分けたり結び付けたりしながら、伝える内容を考えている	R6	80.3	80.0		※	※	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	

項目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書いている	R6	83.9	83.2		※	※	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目している	R6	84.7	84.4		※	※	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	

⑨ 学習に対する興味・関心や授業の理解度等(算数・数学)

項目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
算数・数学の勉強は好きだ	R6	63.3	61.0	△	60.7	57.2	△
	R5	66.1	61.4	△	62.1	56.7	△
	R4	68.5	62.5	△	63.4	58.1	△
算数・数学の勉強は大切だ	R6	95.5	94.6		↑ 89.9	↑ 87.2	△
	R5	95.9	94.2		87.8	85.0	△
	R4	95.7	94.2		89.6	86.6	△
算数・数学の授業の内容はよく分かる	R6	85.1	82.1	△	78.0	↑ 75.7	△
	R5	85.4	81.2	△	78.1	73.3	△
	R4	86.6	81.2	△	81.1	76.2	△
算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ	R6	95.4	94.1		80.7	↑ 78.5	△
	R5	95.3	93.3	△	79.4	75.8	△
	R4	94.8	93.3		80.3	76.5	△
算数・数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える	R6	↑ 78.4	↑ 77.9		↑ 60.4	↑ 57.2	△
	R4	71.7	69.3	△	53.3	47.3	△
	R3	77.2	73.9	△	56.6	50.6	△
算数・数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える	R6	84.1	↑ 83.3		79.9	↑ 78.1	
	R4	82.2	80.4		79.0	75.2	△
	R3	84.8	82.7	△	79.6	75.8	△
算数・数学の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしている	R6	67.7	63.6	△	49.7	46.0	△
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
算数・数学の授業で学習したことを、今後の学習で活用しようとしている	R6	84.4	84.6		79.7	77.0	△
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	

⑩ 学習に対する興味・関心や授業の理解度等(理科)

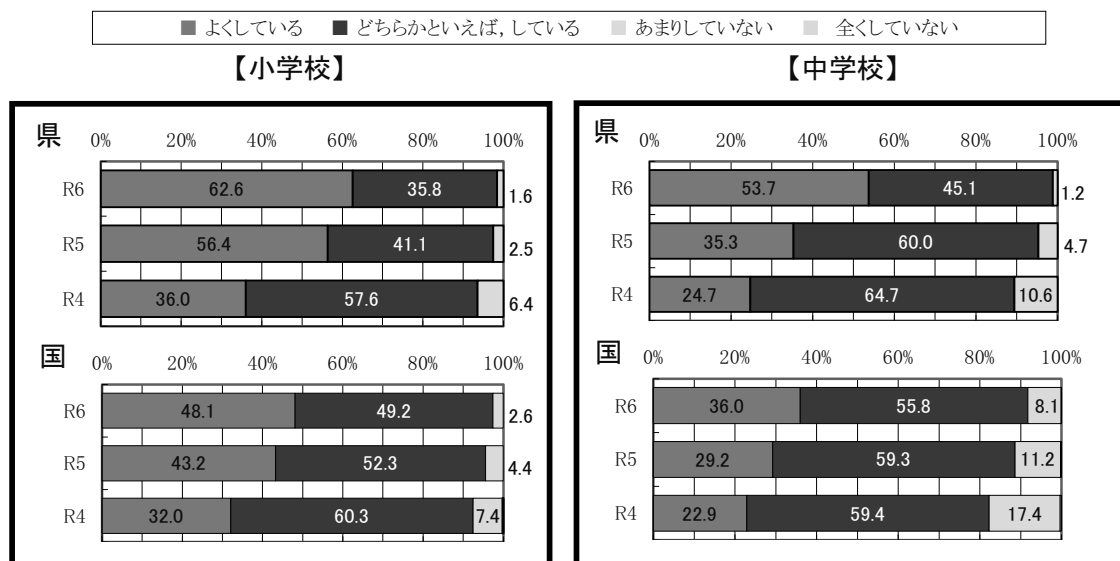
項 目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
理科の勉強は好きだ	R6	↑ 83.0	↑ 83.6		75.8	68.3	△
	R4	80.8	79.7		↑ 73.9	↑ 66.4	△
	H30	83.1	83.5		67.6	62.9	△
自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりすることがある	R6	82.8	83.2		74.6	70.7	△
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている	R6	↑ 87.5	↑ 85.6		↑ 77.4	↑ 71.5	△
	R4	↑ 80.4	↑ 78.0	△	↑ 70.4	↑ 64.5	△
	H30	77.4	75.2	△	65.0	58.5	△

⑪ 学習に対する興味・関心や授業の理解度等(英語)

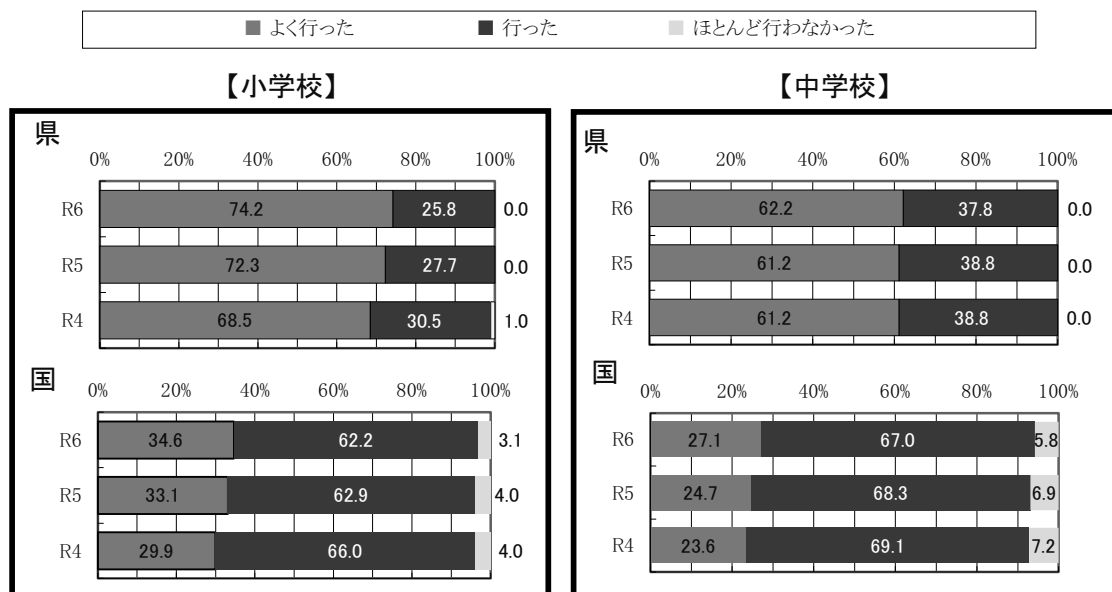
項 目		小学校第6学年			中学校第3学年		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
英語の勉強は好きだ	R6	70.5	69.3		※	※	
	R5	70.3	69.3		53.3	51.9	
	R3	70.6	68.3	△	61.3	56.7	△
英語の勉強は大切だ	R6	92.5	92.1		※	※	
	R5	91.8	91.3		88.7	88.0	
	R1	※	※		86.9	85.4	
英語の授業の内容はよく分かる	R6	81.0	78.3	△	※	※	
	R5	※	※		64.6	63.9	
	R1	※	※		68.8	66.0	△
授業では、英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていた	R6	※	※		↑ 85.9	↑ 83.3	△
	R5	※	※		80.6	78.2	△
	R1	※	※		83.0	79.2	△
授業では、英語を読んで(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていた	R6	※	※		↑ 87.7	↑ 85.6	△
	R5	※	※		82.0	80.3	
	R1	※	※		84.5	81.2	△
授業では、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていた	R6	※	※		↑ 76.0	↑ 68.8	△
	R5	※	※		70.5	63.8	△
	R1	※	※		71.8	62.9	△
授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていた	R6	※	※		↑ 87.1	↑ 82.4	△
	R5	※	※		81.8	78.7	△
	R1	※	※		82.1	77.2	△
授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていた	R6	※	※		↑ 89.6	↑ 85.7	△
	R5	※	※		86.7	↑ 82.8	△
	R1	※	※		87.9	80.1	△

## (2) 学校質問調査

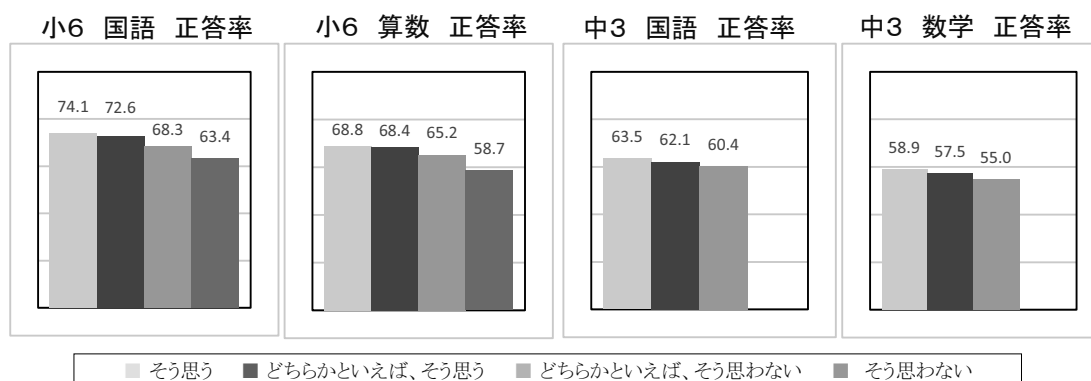
◇ 指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか



◇ 自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか



◇ 授業において、自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思いますか



※学校質問調査において、各教科区分とのクロス集計したグラフから抜粋

<表記について>

△：全国より2ポイント以上高い      ↑：前年度(前回)より2ポイント以上高い

▼：全国より2ポイント以上低い      ※：未実施

① 生徒指導等

項目		小学校			中学校		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
授業中の私語が少なく、落ち着いていると思う	R6	88.9	85.5	△	91.5	93.8	▼
	R5	89.1	87.6		95.3	95.1	
	R4	87.7	87.2		94.1	95.6	
スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、児童生徒が相談したい時に相談できる体制となっている	R6	↑ 93.7	↑ 90.6	△	↑ 95.1	95.0	
	R4	88.7	88.4		92.9	94.9	▼
	※	※	※		※	※	

② 学校運営に関する状況／教職員の資質向上に関する状況

項目		小学校			中学校		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを月に数回程度以上行った	R6	82.1	↑ 78.9	△	↑ 76.9	↑ 64.7	△
	R5	83.1	↑ 76.5	△	↑ 72.9	↑ 61.4	△
	R4	82.3	73.2	△	69.4	55.7	△
教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを月に数回程度以上行った	R6	86.9	87.5		81.7	↑ 77.3	△
	R5	90.1	↑ 86.7	△	↑ 83.5	↑ 75.3	△
	R4	90.2	83.7	△	72.9	69.1	△
指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列した	R6	↑ 99.4	↑ 97.3	△	↑ 96.4	↑ 94.0	△
	R4	97.1	94.8	△	↑ 94.1	91.3	△
	R3	95.6	94.4		91.8	90.6	
児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している	R6	97.9	97.0		96.4	96.5	
	R5	97.5	↑ 96.2		↑ 97.6	95.2	△
	R4	96.0	94.2		95.3	93.3	△
指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている	R6	98.4	97.3		↑ 98.8	↑ 91.8	△
	R5	↑ 97.5	↑ 95.5	△	↑ 95.3	↑ 88.5	△
	R4	93.6	92.3		89.4	82.3	△
言語活動について、国語科を要としつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいる	R6	95.3	96.0		97.5	94.2	△
	R5	97.5	95.6		96.4	93.4	△
	※	※	※		※	※	
授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っている	R6	99.5	98.6		97.6	94.8	△
	R5	100.0	98.5		↑ 100.0	↑ 94.7	△
	R4	99.5	97.7		97.7	92.7	△
児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を学ぶ校内研修を行っている	R6	91.1	90.0		↑ 92.7	85.7	△
	R5	↑ 89.6	↑ 88.8		↑ 88.2	↑ 83.8	△
	R4	85.2	83.6		78.8	78.6	
個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加している(オンラインでの参加を含む)	R6	92.1	↑ 86.4	△	↑ 93.9	↑ 84.1	△
	R5	↑ 95.1	↑ 84.2	△	↑ 91.8	↑ 81.1	△
	R4	82.3	76.0	△	76.5	73.0	△

項目		小学校			中学校		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
学校運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、改善に向けて学校として組織的に取り組んでいる	R6	100.0	99.3		100.0	98.4	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
各児童生徒の様子を、担任や副担任だけでなく、可能な限り多くの教職員で見取り、情報交換をしている	R6	99.5	99.6		100.0	99.6	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
今までの取組をそのまま踏襲するのではなく、新しい取組を導入したり、提案をしたりしてくる教職員が多いと思う	R6	91.1	91.0		89.0	90.6	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
教職員が困っているとき、互いに相談できる雰囲気があると思う	R6	100.0	99.4		100.0	99.0	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
ストレスチェックの結果の活用や研修など、教職員自身の心身の健康状態につき振り返り対処する機会が提供されていると思う	R6	90.5	90.1		87.8	89.5	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	

③ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

項目		小学校			中学校		
		本県(%)	全国(%)	比較	本県(%)	全国(%)	比較
課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思う	R6	91.1	88.2	△	91.4	88.4	△
	R5	↑ 93.5	88.9	△	↑ 94.2	88.0	△
	R4	87.1	87.2		84.7	87.9	▼
自らの考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して、発言や発表を行うことができていると思う	R6	↑ 77.9	78.3		84.2	82.7	
	R5	75.2	↑ 79.0	▼	↑ 88.2	81.6	△
	R4	74.4	75.1		74.1	80.7	▼
学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思う	R6	87.4	87.2		92.6	89.7	△
	R5	↑ 88.1	↑ 87.7		↑ 94.1	88.8	△
	R4	81.8	83.8	▼	89.4	87.3	△
授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にしてお互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思う	R6	96.3	93.6	△	97.5	96.1	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
授業では、自分で学ぶ内容を決め、計画を立てて学ぶ活動を行っている	R6	66.3	61.2	△	54.9	55.3	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
学習指導において、児童生徒一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫した	R6	86.3	90.3	▼	91.5	86.3	△
	R5	92.0	93.1		90.6	90.9	
	※	※	※		※	※	
児童生徒が、それぞれのよさを生かしなが、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫した	R6	95.8	94.5		↑ 100.0	94.0	△
	R5	95.1	94.3		94.1	94.2	
	※	※	※		※	※	

項目		小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
授業において、児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をした	R6	97.4	95.8		↑ 100.0	96.3	△
	R4	97.5	96.8		94.2	↑ 97.1	▼
	H29	97.1	95.5		94.4	93.9	
授業において、児童生徒自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れた	R6	92.1	89.3	△	↑ 90.2	85.1	△
	R5	92.6	90.4	△	83.6	87.0	▼
	R4	92.6	89.8	△	88.3	87.0	
習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした	R6	91.0	87.4	△	↑ 90.2	86.6	△
	R5	91.6	89.0	△	84.7	87.7	▼
	R4	91.6	88.0	△	87.1	88.2	
各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた	R6	↑ 91.1	85.7	△	↑ 84.2	78.6	△
	R5	89.1	↑ 85.6	△	75.3	78.6	▼
	R4	89.1	83.4	△	83.5	76.6	△

#### ④ 総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科 道徳の指導方法

項目		小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
総合的な学習の時間において、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしている	R6	↑ 94.7	91.9	△	95.2	90.9	△
	R5	91.6	92.7		94.1	↑ 92.1	△
	R4	94.6	90.8	△	92.9	89.6	△
学級生活をよりよくするために、学級会[学級活動]で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っている	R6	96.9	94.2	△	89.1	94.0	▼
	R5	95.0	94.3		88.2	93.9	▼
	R4	94.6	93.8		91.8	93.3	
学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の児童生徒が意思決定できるような指導を行っている	R6	96.3	92.6	△	90.3	92.4	▼
	R5	95.5	93.1	△	90.6	92.0	
	R4	94.1	92.6		91.8	91.7	
特別の教科 道徳において、取り上げる題材を児童生徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしている	R6	97.4	96.0		↑ 97.5	96.3	
	R5	98.6	96.5	△	94.1	96.9	▼
	R4	99.5	96.9	△	94.1	97.7	▼

#### ⑤ 学習評価

項目		小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、評価規準や評価方法の教員間での明確化・共有化や、学年会や教科等部会等の校内組織の活用等、組織的かつ計画的な取組をした	R6	↑ 92.7	↑ 87.1	△	↑ 93.9	91.2	△
	R4	85.2	84.1		↑ 91.8	↑ 91.6	
	R3	87.6	84.4	△	88.4	88.3	

⑥ 国語科の指導方法

項目	R6	小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるような指導を行った	R6	92.6	90.0	△	※	※	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
目的や意図、場面の状況に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、話す内容を検討することができるような指導を行った	R6	96.4	92.6	△	※	※	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書くことができるような指導を行った	R6	95.8	94.9		※	※	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
登場人物の人物像や物語の全体像を具体的に想像し、表現の効果を考えて読むことができるような指導を行った	R6	95.7	96.9		※	※	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
話を聞いたり文章を読んだりするときに、具体的な情報と抽象的な情報との関係を捉えて理解することができるような指導を行った	R6	※	※		96.3	93.9	△
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができるような指導を行った	R6	※	※		95.1	91.5	△
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
自分の考えが伝わるように、表現の効果を考えて文章を書く指導を行った	R6	※	※		97.6	95.8	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
説明的な文章を読み、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができるような指導を行った	R6	※	※		96.4	95.4	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	

⑦ 算数・数学科の指導方法

項目	R6	小学校			中学校		
		本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
実生活における事象との関連を図った授業を行った	R6	94.2	92.3		93.9	88.5	△
	R5	93.1	↑ 92.1		↑ 93.0	↑ 88.0	△
	R4	93.6	84.3	△	82.4	82.8	
具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習を通して、数量や図形について実感を伴った理解をする[観察や操作、実験等の活動を通して、数量や図形等の性質を見いだす]活動を行った	R6	↑ 95.8	94.6		90.3	85.7	△
	R5	93.6	↑ 94.6		↑ 89.4	↑ 84.3	△
	R4	94.5	92.4	△	81.2	78.7	△
問題の答えを求めさせるだけでなく、どのように考え、その答えになったのかなどについて、児童生徒に筋道を立てて説明させるような授業を行った	R6	97.9	96.2		96.4	94.8	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
児童生徒がどのようなことにつまずくのかを想定した指導を行った	R6	97.9	94.8	△	95.1	95.5	
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	



⑧ 理科の指導方法

項目	小学校			中学校		
	本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
自然の事物・現象から問題を見いだすことができる指導を行った	R6	96.3	95.3	↑ 97.6	95.5	△
	R4	94.6	93.9	92.9	94.4	
	※	※	※	※	※	
実生活における事象との関連を図った授業を行った	R6	96.9	96.0	96.3	97.0	
	R4	↑ 96.0	↑ 94.2	↑ 95.3	↑ 96.8	
	H30	83.2	85.7	▼	93.3	90.7 △
自ら考えた予想や仮設をもとに、観察、実験の計画を立てることができるような指導を行った	R6	↑ 96.9	94.8	△	↑ 89.0	↑ 84.1 △
	R4	↑ 92.2	↑ 93.8		75.3	↑ 79.2 ▼
	H30	88.9	86.5	△	82.0	73.0 △

⑨ 英語科の指導方法

項目	小学校			中学校		
	本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
学校として外国語教育の充実に取り組む上で、必要な情報や研修、自己研鑽の機会を十分に設けている	R6	↑ 75.8	↑ 74.8	※	※	
	R5	↑ 73.3	↑ 71.8	※	※	
	R3	65.6	67.6	▼	※	※
英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点を捉える言語活動を行った	R6	※	※	98.8	94.5	△
	R5	※	※	↑ 98.8	↑ 94.2	△
	R1	※	※	89.4	87.2	△
英語を読んで(一文一文ではなく全体の)概要や要点を捉える言語活動を行った	R6	※	※	97.6	96.2	
	R5	※	※	↑ 100.0	↑ 96.1	△
	R1	※	※	94.1	90.9	△
原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う言語活動を行った	R6	※	※	87.8	↑ 79.3	△
	R5	※	※	↑ 87.1	↑ 76.8	△
	R1	※	※	64.7	65.1	
スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する言語活動を行った	R6	※	※	↑ 95.1	88.4	△
	R5	※	※	↑ 91.7	↑ 86.9	△
	R1	※	※	81.2	80.8	
自分の考えや気持ちなどを英語で書く言語活動を行った	R6	※	※	98.8	92.5	△
	R5	※	※	↑ 98.9	↑ 91.9	△
	R1	※	※	91.8	87.6	△

⑩ ICTを活用した学習状況

項目	小学校			中学校		
	本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較
教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たり週1回以上行った	R6	100.0	97.6	△	100.0	97.2 △
	R5	98.5	95.8	△	98.9	95.8 △
	R4	98.0	95.8	△	97.7	95.9
教員がコンピュータなどのICT機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がある	R6	100.0	95.1	△	92.7	90.8
	R5	↑ 100.0	95.9	△	↑ 97.7	91.5 △
	R4	97.6	94.7	△	94.1	90.8 △

項目	小学校			中学校			
	本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較	
コンピュータなどのICT機器の活用に関して、学校内外において十分に必要なサポートが受けられている	R6	91.1	88.9	△	↑ 95.2	↑ 84.6	△
	R5	95.1	87.4	△	87.1	82.5	△
	※	※	※		※	※	
児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業で週1回以上活用している	R6	100.0	99.2		100.0	98.5	
	R5	100.0	99.0		100.0	↑ 97.7	△
	R4	99.0	97.7		98.8	95.6	△
自分で調べる場面(ウェブブラウザによるインターネット検索等)では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を週1回以上使用させた	R6	96.8	↑ 97.0		↑ 97.6	↑ 93.5	△
	R5	↑ 96.0	↑ 94.9		↑ 95.3	↑ 91.0	△
	R4	93.1	92.2		92.9	87.6	△
自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を週1回以上使用させた	R6	↑ 92.2	↑ 83.6	△	↑ 97.6	↑ 82.1	△
	R5	↑ 84.7	↑ 76.4	△	↑ 94.2	↑ 76.2	△
	R4	78.9	71.6	△	88.2	73.8	△
教職員と児童生徒がやりとりする場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を週1回以上使用させた	R6	↑ 89.6	↑ 83.2	△	↑ 90.3	↑ 81.8	△
	R5	↑ 83.7	↑ 78.4	△	80.0	↑ 75.7	△
	R4	75.8	72.1	△	84.8	70.8	△
児童生徒同士がやりとりする場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を週1回以上使用させた	R6	↑ 84.2	↑ 73.8	△	↑ 85.4	↑ 69.6	△
	R5	↑ 75.3	↑ 68.5	△	↑ 77.6	↑ 62.2	△
	R4	61.1	59.1	△	68.2	55.4	△
児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を週1回以上使用させた	R6	↑ 85.3	↑ 83.6		↑ 84.1	↑ 74.0	△
	R5	74.2	77.9	▼	65.9	67.5	
	※	※	※		※	※	
児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を使って、児童生徒が学校外の施設(他の学校や社会教育施設、民間企業等)にいる人々とやりとりする取組を月1回以上実施した	R6	↑ 7.4	6.4		2.4	5.0	▼
	R5	↑ 5.0	5.0		3.5	↑ 5.8	▼
	R4	2.5	3.8		3.6	3.6	
教職員と家庭との間で連絡を取り合う場面で、コンピュータなどのICT機器を活用している	R6	↑ 81.6	↑ 71.7	△	↑ 74.4	↑ 72.9	
	R5	↑ 67.3	↑ 62.8	△	↑ 58.9	↑ 61.6	▼
	R4	47.8	50.3	▼	51.8	49.4	△
児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどの端末を持ち帰って利用させている	R6	96.9	↑ 86.3	△	↑ 85.4	↑ 84.4	
	R5	↑ 96.5	↑ 81.3	△	↑ 74.2	↑ 76.9	▼
	R4	85.7	66.9	△	61.1	61.8	

### ⑪ 特別支援教育

項目	小学校			中学校			
	本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較	
児童生徒の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫等)を行った	R6	93.7	94.9		↑ 92.7	94.0	
	R5	93.6	94.9		88.2	94.1	▼
	R4	93.1	94.3		91.8	92.8	

⑫ 小学校教育と中学校教育の連携

項目	小学校			中学校			
	本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較	
近隣等の小学校[中学校]と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行った	R6	64.8	↑ 64.0		78.0	↑ 69.0	△
	R5	↑ 63.3	↑ 60.6	△	↑ 76.5	↑ 66.8	△
	R4	55.2	52.7	△	68.3	61.1	△

⑬ 家庭や地域との連携等

項目	小学校			中学校			
	本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較	
(小学校)職場見学を行っている (中学校)職場体験活動を1日以上行った	R6	28.9	↑ 43.2	▼	↑ 64.6	↑ 76.1	▼
	R5	↑ 30.2	↑ 39.6	▼	↑ 29.4	↑ 54.1	▼
	R4	17.7	29.9	▼	17.7	28.5	▼
コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まった	R6	↑ 86.8	↑ 88.9	▼	↑ 74.3	↑ 84.1	▼
	R5	77.2	86.1	▼	63.5	79.3	▼
	※	※	※		※	※	

⑭ 家庭学習

項目	小学校			中学校			
	本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較	
学校では、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えた	R6	99.5	96.1	△	98.7	91.9	△
	R5	99.0	95.7	△	97.6	90.9	△
	R4	98.0	96.5		97.7	93.6	△
児童生徒が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行った	R6	93.7	89.7	△	93.9	84.0	△
	※	※	※		※	※	
	※	※	※		※	※	
学校では、児童生徒が行った家庭学習の課題について、その後の教員の指導改善や児童生徒の学習改善に生かした	R6	90.0	87.8	△	90.3	82.8	△
	R5	↑ 91.6	90.6		↑ 89.4	84.4	△
	R4	89.2	89.7		83.5	86.9	▼

⑮ 全国学力・学習状況調査の結果の活用

項目	小学校			中学校			
	本県 (%)	全国 (%)	比較	本県 (%)	全国 (%)	比較	
令和5年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用した	R6	100.0	96.8	△	100.0	94.1	△
	R5	100.0	96.0	△	100.0	93.0	△
	R4	99.0	95.9	△	100.0	92.7	△
全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行った	R6	100.0	92.8	△	100.0	89.3	△
	R5	99.0	92.2	△	98.8	88.1	△
	R4	99.5	91.7	△	100.0	88.5	△
令和5年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行った(学校のホームページや学校だよりなどへの掲載、保護者会等での説明を含む)	R6	89.5	89.5		86.5	↑ 83.2	△
	R5	96.0	88.0	△	↑ 96.5	81.1	△
	R4	94.6	86.2	△	94.2	80.6	△

令和6年度

全国学力・学習状況調査 ー結果の概要ー

令和6年9月発行

石川県教育委員会事務局学校指導課

〒920-8575 石川県金沢市鞍月1丁目1番地

TEL 076-225-1827

e-mail : [gakusi@pref.ishikawa.lg.jp](mailto:gakusi@pref.ishikawa.lg.jp)